京城日報

十一日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵税一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓 郵券代用二割增
廣告料 五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金貳圓 ▲三號活字拾字詰壹行金貳圓 ▲四號活字拾壹字詰壹行金七拾錢 六號活字廿一字詰
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用四五番 營業用三四番 一二〇番 一三六番 振替貯金口座京城〇〇三番

◎支那參戰案の運命

支那參戰案の運命は中立議員二十五名に依りて決す可し(北京電報)

▲參戰案に付十日衆議院全院委員會開催され參戰贊成の群衆議院の門前に雲集し形勢頗る不穩なるより段總理は群衆解散せざれば出席せずとて夜に入るも竟に出席せざりき(北京電報)

◎北京主戰派騷擾す

衆議院に殺到=警察總監干涉

十日午後一時主戰請願團三千名は衆議院門前に押寄せ手に手に小旗を振り廢し主戰論の檄文を散布しつゝ門内に闖入せんとし門衛と衝突するなど形勢頗る不穩なり警察總監吳炳湘(段總理と同鄕安徽合肥縣人)は巡警五百を率ゐ門前に於て一々議員を誰何し妨害的干涉を試みんとするものゝ如し(北京特電)

◎却て民黨の反感を增す

北京政界益々多事

總理が聯立內閣の發表を爲したるに拘らず却て民黨側に反對の氣勢を昂めたれば或は絕望の極、倪嗣冲等の激烈なる獻策用ひられずとも限らず段總理に其意無しとするも部下に事を發するの虞あり(北京特電)

◎支出案の記錄破り

藏相ボナー、ロー氏は九日五億磅の大支出案を提出したるが支出案としては記錄破りなり(倫敦電報)

◎英船拾五隻行方不明

英國汽船の行方不明となりしもの最近拾五隻あり(倫敦電報)

◎日本船舶で米兵輸送

米國兵を佛國に輸入せん爲め日本船舶を使用せんとの協議日英米三國間に進行中なりとの報あり(桑港電報)

◎米國關稅一割引上

米國增資案に關し下院豫算委員は八日夜關稅に關する方針を一變し現行稅率は總て一割を引上げ無稅品には新たに總て一割の稅を課する事に決定せりと(東京特電)

◎莫斯科にも亦暴動

莫斯科のプレセンスキー警察管內に約二千名の暴動起り『麵麭と水を與へよ』『皇帝を返せ』『軍國主義を捨てよ』と叫び果ては監督官事務所に闖入し短銃彈藥を掠奪せり(露都電報)

◎獨逸首相愈々更迭か

バヷリア首相ヘツトリング氏は伯林に到著したるが傳へらるゝ所に依れば獨逸宰相ベートマン、ホルウエツヒ氏は辭職しヘツトリング氏其後任たる可しと(桑港電報)

◎鐵道債券割當

過般發行の第三回鐵道債券はプレミアム附申込三百七十五萬九千五百五十圓は全部募入し平價申込三千九百十七萬九千八百圓は按分割當の結果九分強となる可く今回は假證券を發行せず證據金及び拂込金の領收證を以て之に代へ六月下旬に本證券を交附す可し(東京特電)

◎軍司令官消息

秋山軍司令官は十日晋州より馬山に來著一泊の上十一日午前九時盛なる見送りを受け出發せり(馬山特電)

◎中村檢事長東上

京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は十日夜出港壹岐丸にて釜山通過東上せり(釜山特電)

◎美濃部總裁

美濃部朝鮮銀行總裁は十日夕刻新義州に著し同地の官民を招待して盛宴を張り十一日安新兩地を視察し午後六時より安東縣の主なる官民數十名を『すみれ』に招待して支店長交迭の披露宴を催し十二日朝發歸京す可し(安東縣特電)

◎スタール博士

スタール博士は通譯を從へ全州に來著十日道廳を訪ひ直ちに金山寺に至り一泊の上十一日再び全州に入り諸種の調査を爲す金參與官斡旋し居れり(全州特電)

◎商事會社設立

群山に資本金二十萬圓を以て米穀貿買其他物產資買を目的とする商事會社設立準備の爲め大阪より創立委員長として石井鐵次郎氏外九名九日來群し目下準備中なるが發起人は大阪當業者十四名既に株式全部引受濟にて客月廿七日認可申請せり(群山特電)

◎總督邸晩餐會

長谷川總督は十一日午後六時三十分より入京中なる棚瀨、頭本兩代議士並に牧山代議士を官邸に招待晩餐會を開く、總督府側よりは各部長官、並に官房主要職員等列席す

◎日本語更に禁止

北米の電報制限嚴重

米國行き電報の用語に日本語を加へられたる趣き昨紙に報道せしが更に十一日遞信局に對し『更に米國に於て電報に日本語の使用を禁止せり尚右は船橋無線電信局經由の電報にも適用する旨』通知ありたりと

◎定例長官會議

十一日は定例長官會議日なるより長谷川總督以下各部長官、局長、所屬官署の長は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎李王御出發

李王殿下は十一日朝臨時列車にて元山御發足、午前九時永興御著、同十一時自動車を驅りて咸興に向はせられたる旨其の筋に電報あり、御歸京は元山御滯在日數延びたる爲め豫定より一日を繰延べらるる筈なり

◎山梨部長入京

教育總監部本部長陸軍中將山梨半造氏は朝鮮駐劄軍隊教育狀況視察の爲め十二日午後九時南大門驛著入京の事となれり

◎高瀨東拓理事歸任

慶南北に於ける地方狀況を視察中なりし高瀨東拓理事は十一日夜歸任す

◎八尋技師出張

農務課技師八尋生男氏は全羅北道廳內に於て開催の筈なる農業技術員會議に列席の爲め十四日當地發全州に出張の事となれり

◎趙子爵旅行

趙子爵は十二日より始興郡安山地方へ旅行の筈

◎柳河中學生來京

福岡縣立中學傳習館生徒九十名は職員三名に引率せられ本月十二日柳河を發し朝鮮修學旅行の途に上り十三日夜九時南大門驛著入京すべく十四、十五の兩日京城を見學して十五日夕歸途に就く由、同校生徒の渡鮮は今回が嚆矢につき在京城柳河關係者は目下接待の準備中なりと

◎製粉合同成らん

十日午後豫報の如く三井物產京城支店に於て朝鮮三製粉事業の計畫者たる朝鮮製粉、滿洲製粉龍山工場、鎭南浦製粉工場の合同に關する各代表者棚瀨代議士、中井滿洲製粉專務、杉浦眞作三氏の會合を行なひ其の間の斡旋に盡力中なる

▲高野三井店長 も立會ひ長時間に亙り曲折ある協議を遂げたるが高野氏の斡旋中出に關する意見の大要を聞くに現在の朝鮮は麥粉の需要甚大ならず、然るに均しく數十萬圓の資本を投下し三個の製粉事業を半島に於て競爭的に經營せんとするは製品の供給過剩となり其の處分に無理を來し面白からぬ結果を見るは蓋し想察するに難からず故に此際從來の行き掛り利害關係先后顧の關係等を一掃し改めて合同の上出發點を新にし堅實なる製粉事業の經營を行なうを可とせずや而して其の合同のため諸君の製粉事業に對し擁せらるゝ又操し得らるる資本の餘力は其の一面に他方面の朝鮮事業界を研究さるれば其の投下を待つ者少なからざるべく斯くなれば單り製粉事業の前途有望なるのみならず朝鮮の事業界にとりても欣幸之れに過ぎずと云ふにあり結局三氏は大體に於て

▲合同に贊意 を表せしも其の併合に關する希望條件は各相違するに付其等に關し腹藏なき意見の交換を行なひたるが多分事業の前途に利害關係より觀察するも各自の小利害を捨て一致點を見出すに多くの困難はなからん尙ほ三代表者の京城に於ける會合は十一日を以て一應打切り三氏共其の事業の發起人並に贊成者と協議の必要あり今後併合に關する申合せは東京に於て行ふべく併合の成否の如何は來る二十五日までに高野氏の許に通知し來るべしと云ふ

◎記念品出來

寺內首相に贈呈す可き鮮內官吏側一同の記念品は美術品製作所に注文製作中なりしが愈々十四日出來總督府に引渡しの事となれり、右記念品は金銀象嵌靑銅大花瓶一對にして頗る美事なる者也

◎佐藤醫監張宴

駐劄軍々醫部長佐藤恒丸氏は十一日午後六時より軍の將校及び總督府內一部の人々を朝鮮ホテルに招待晩餐會を開けり

南北滿洲

哈爾賓見聞錄

西海生

▼東清鐵道の附屬地たる哈爾賓市街に殆んど連接して支那人街の傅家甸がある、ホン新興の都市だが、何しろ吉林黑龍江兩省を通ずる松花江流域の特產物が盛んに此地に集散し、且つ北滿各地の支那人に對する日用諸雜貨の供給等を夥しくやり得る位置だから、市況殷賑、建築宏壯、街路整備、行人織るが如く、非常に殷賑である、人口も六萬を超ゆるやうだ

▼傅家甸に朝鮮銀行は派出所を出してゐる、外に支那銀行が三四あるけれど、金利が矢鱈に高かつたり、確實を缺いだりするので、在傅支那商の鮮銀に對する信用は深くて強いものがあり、其の營業狀態は逐次好良の域に進んで行くらしい

▼小生は露國紙幣、留に對する在哈日本有力者の意見も聞いて見た、何分戰爭前金百圓に對し留は百五圓を示した事もあるのに歐戰以來露西亞政府の兌換を停止し紙幣の濫發を行ふや、金に對する其の價格は漸落し、今日の一留は金の五十五錢に相當するのみである

▼目下の所露政府の留發行高は戰爭の增嵩等により二百億近くに達してゐるらしい、露西亞が戰後如何にして此の洪水の如く濫發せる留紙幣を整理し兌換の基礎を確立するかは同國財政上の大問題である、恐らく戰後と雖も容易に兌換制度の復活を行はれぬであらう、而して火酒若くは外の重要消費品の極端な專賣でも行して、政府の歲入を增し、漸次財政の整理を行なひつつ、幣制の基礎を固くする外はなからう

▼今日市場には殆んど露西亞の金貨は見られぬ、政府が金貨を回收して終つたかと云へば然らずである、之等の金貨は悉く資本家の庫中に藏せられてゐるらしい、若くば他國に流出したらしい、尙ほ留の下落は必然物價の騰貴となり、下層の露人の生活難は隨分酷いやうだとの事であつた

▼在哈の日本商が、時々嚇さるゝのは露西亞の課稅だと云ふ、去年例へば千留の納稅で濟んだのに、今年は一躍六千留も增課して來ると云ふ風の事は敢て珍らしくない、さうした場合は、陰に露西亞式の袖の下を贈り、陽に抗議を申込めば、又前年通りに相濟むらしい、此邊は日本と大分異ふ

▼日本と異ふと云へば、哈爾賓の理髮屋の如き、其の營業を露西亞の當局より左のやうに拘束されてゐるさうだ

冬期中乃ち露曆十月十五日より四月十五日までは平日は午前九時より午後九時までとす
夏期中四月五日より十五日までは午前八時より午後八時までとす
一日中に食事時間を一時間三十分與ふ
日曜は正午まで
ドウナデシヤトイ祭日及び復活祭、祭日に前後の前二日間、新年元日祭日は休業する事

とある、外の商店も、飲食店を除く外午後八時には一齊に戶を締め、一體露人は朝寢坊の宵つぱりだのに、普通自由の營業にまで斯うした執務時間やうのものを法律で極むるなどは鳥渡吾々には異樣に思はれる

▼東清鐵道の列車が、急行以外電燈を點さず、蠟燭を薄暗く點けて濟ますのは露人に大した不平がないため設備費を節約するのだと云ふ、薄暗い車中を著劍の兵士が警戒したりして、日本婦人の一人旅などは定めて無氣味であらう、哈市で小生は二軒ばかり露人の家の便所に上つて見た其の醜陋言語に絕するものがある、或人は露人はそんな事を一向構はぬらしいと云つた小生は汽車と便所に露人の無頓著な餘り芳しくない卑近な例を見たやうな氣がした

◎頭本代議士招宴

今回入京せる衆議院議員頭本元貞氏は伊藤統監時代に多年盡す所あり朝鮮側に於て盛大なる歡迎會を開催せんと欲せしが時恰も李王殿下御旅行の砌に關係者の重立つ人々は旅行不在により其意を果す能はざるを以て同氏と懇意深き趙重應子及び有志者は十日夜九時より明月館に同氏を招待し懷舊談に耽り和氣靄々の裡に十二分の歡を盡し同十一時半散會せりと

◎平南棉花調査

平南の棉花は前年度に於て作付反別七百町步收穫高三百十九萬斤に達し全南、慶南北に亞ぐの產地たるのみならず在來棉としては品質の良好なるを全鮮第一を以て稱せられ前途有望なるよりして鎭南浦に於ては已に百廿馬力の繰綿工場を新設せるものあるなど漸く世人の注意を喚起せるが產業調査局にては今回局員を派遣し約一週間に亙りて調査せしむることとなり同局員伊藤氏は十一日來壤せり(平壤)

◎鮮銀總裁動靜

朝鮮銀行鎭南浦支店長更迭披露の爲め同地に赴きたる美濃部總裁は九日午後九時再び平壤に來著旅館柳屋に投宿せるが十日午後一時發列車にて新義州に向へり(平壤)

◎平壤漢銀支配人東上

漢城銀行平壤支店支配人淺井佐一郞氏は十日午後一時平壤發列車にて東上したるが六月八日迄滯京すべしと云ふ(平壤)

◎鎭南浦在庫米

鎭南浦に於ける五月五日現在在庫精米は總計六萬七千石にして籾は四萬六千石なりと云ふ(平壤)

◎忠北麥作と養蠶

忠北道 本年麥作狀況に就いて道當局の調査によれば冬季寒威酷烈なりしため發育良好ならざりしに加へ過般來降雨なかりしため株張充分ならざるため本年收穫の減少は免かれざるべきも今後天候適順にて中旬に一回の降雨を見れば辛うじて平年作には達するならんと又た忠北道今年春蠶は原種總數一萬二千枚にて昨年に比し約二割の增加を示したるが之が掃立は十二三日頃より始まり十七八日頃に終るべく桑葉の發育も昨年に比し稍良好なれば今後降霜を見ざる限りは桑葉の不足を來すことなかるべく生產繭額約二萬八千石に達せん(淸州)

◎山梨中將來邱

教育總監本部長山梨中將は朝鮮駐劄軍各隊教育狀況視察の爲め同參謀谷大尉を隨へ九日午後一時十八分鐵路來邱十日大邱聯隊の視察を了したるが十二日午後一時二十三分大邱驛發列車にて京城に向ふべし

▲鳥飼少佐赴任 步兵第八十聯隊附陸軍少佐鳥飼嘉一氏は今回宇都宮五十九聯隊附を命ぜられ十三日赴任の筈(大邱)

◎間島より

宇佐美長官と鮮人

今次間島視察に入りたる宇佐美長官は前時代の內部大臣に匹敵する重任にあるは間島移住鮮人と雖も克く之れを知れるが故に宇佐美長官一たび間島に視察の步を枉ぐるや鮮人は舉げて同長官の風丰を慕はざるなく月の二日龍井に於ける歡迎會の如き朝鮮人の出席者七十餘名を算し有力者を網羅せるが是等鮮人長官に接する者相踵ぎ之れに對する同長官の態度また慈父も啻ばぬ溫情を湛へ引見懇切を極めたり中にも一鮮人は不日京城觀光團に加はらんとするものにて紹介者其意を同長官に通じたるに同長官莞爾として予は諸君等の京城觀光團を迎へんがために長途間島に入れりと諧謔一番妙意を寓するあたり無限の味存して見ゐたるが同長官の視察振りは總て斯の如く寬容人を懷かしめずんば止まざりき(間島)

◎仁川

▲圖案及び應用作品展覽會 農商務省商品陳列館にては圖案及び各種工藝品の改善發達を期する爲め來る十月一日より同三十日迄圖案及び應用作品展覽會第五回を催ほす可く仁川商業會議所へ各關係者の出品方勸誘を依賴し來れり規定其他は會議所內にあり▲各學校長會議 九日府廳に於て開かれたる各學校長會議に於ては重に聯合運動會に關する打合せ及び小學校分校問題、商業專修學校擴張問題等にして何れも今後研究する事に決したり▲雜誌寄贈 楠野仁川府尹は斯民、朝鮮產業を小學校へ、朝鮮公論及び普通學校へ、地方行政を商業專修へ軍事警察を靑年會へ乃木式を高等女學校へ毎月寄贈する事とせり

◎平壤

▲平南農作物改良種子 昨年四月一日より本年三月卅一日迄に道種苗場より各府郡へ配付せる種子種苗は水稻(三石餘)日の出種、陸稻(九石餘)滋賀及び金子、小麥(三石餘)カリホルニヤ及び江西種、大麥(五石餘)六角シユバリー、其他裸麥は糯裸及び丸賀、大豆は谷起、平壤粟は平壤陽德ヒンデホアンチヨン、オーチヨ、プルクンデホアンチヨン等なりと▲龍岡在來棉移出 平南の棉は在來棉としては品質最も良好なるものより近年各方面に移送せらるゝに至れるが最近龍岡地方にては棉花の移出旺盛を極め寄補なる資金は廣く各方面に撒布され自然諸雜貨の賣行も良好なりと▲螟の驅除獎勵 平壤府にては警察署と協力して極力螟の驅除に努むべく螟取器約一萬本を購入し之を原價にて希望者に分つのみならず昨今は螟の發生期にして最も驅除を必要とする爲去月四日より一合一錢にて買上を開始せり▲了波滯貨一掃 了波地方には相場不出合の爲め穀物の手持ち多く自然市況も幾分沈靜なりしが月末より月初にかけて氣配稍良好なりしより手合盛んに行はれ滯貨は全く一掃され諸雜貨亦非々賣立ちたりと▲篠田第一部長消息 孟山寧遠地方巡視中なる篠田第一部長一行は十日より三日間德川滯在十五日安州を經て歸任の筈▲新安州小學校建築 新安州にては就學兒童漸次增加し軍隅里方面の生徒が退校せるに拘らず昨今にては學童七十餘名を算し明年四月には八十名以上となるべき見込みにて到底現在の狹隘なる校舍にては收容し切れざるより頭來校舍新築の議盛んに起り建築費約四千圓の中民間主なる人々のみにて千五百圓は立所に集る模樣なれば殘餘の工費補助に關し目下上司と種々打合せ中なり▲鮮人側大運動會 平壤鮮人側主なる人々約四十名は九日午後より商業會議所樓上に集合し鮮人商店々員の懇親運動會開催に就き種々協議する處ありたり

◎木浦

▲木浦驛概况 四月中の木浦驛營業成績を聞くに乘車人員四千六百三十六人降車人員四千四百八十五人入場人員二千〇六十五人貨物は發送千四百十九噸到著千九百七十六噸にして客車收入六千八百十五圓三十七錢貨車收入一萬二千百九十六圓九十五錢なりと▲木浦最近戶口 當警察署調査に係る四月末現在戶數は內地人千百七十五戶男二千三百九十一人女二千二百三十五人計四千六百二十六人朝鮮人一千九百四十一戶男四千五百七十人女三千八百八十二人計八千四百六十二人淸國人二十二戶男六十七人女一人計六十八人歐米人五戶男八人女十一人計十九人なり▲福田會頭歸木 京阪地方視察中なりし福田有造氏は五日午後四時列車にて歸木せり

人事消息

▲小林富次郎氏(東京小林商會主) 十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲藤岡鐵次郎氏(大同生命保險會社取締役) 十二日夜入京浦尾旅館へ投宿の筈
▲中村辰五郎氏(回漕業) 十一日退京鎭南浦へ
▲竹崎大邱府尹 平壤鎭南浦方面視察中の處十日午前二時五十六分平壤發赴任
▲山田小學校職員生徒百卅名 十一日午前開城へ
▲中村朝七郎氏(中村組主) 十一日午前退京鎭南浦へ
▲宋秉畯氏(子爵) 十一日午前報王寺へ
▲小原新三氏(農商工部長官) 十一日朝木浦へ
▲中村彥氏(總督府技師) 同上

繪の如き永興灣の春景色

元山に於ける李王殿下の御宿

□□□□朝鮮の天の橋立と呼ぶ葛麻浦の松原□□□□

李王殿下の元山のお宿には街の東方春日町の府尹官舍をあてられた、九日の午後三時二十分殿下の御召しになつた

□黄金色の 帽子が赤田橋から本町通りを眞直ぐに府廳表門に入れば其處にも此處にも國旗が飜る、殿下の御座敷からは紺碧の永興灣が一眸の下に集り虎島葛麻半島の灣口を越ねて遙かに

□青螺點々 たる島々も見ゆる、朝鮮の俗謠に名高き『溟沙十里海棠花……』の葛麻の岬は繪の如く青い海原に眞帆片帆がすべる、殿下はあたりの景色に非常な御感興を催されたと聞く、それにまた邇日

□長閑けき 庭前には淡紅色の林檎の花や桃の花、さては雪かとまがう梨の花など風に散りて空色の裳長き女官の姿なども觀中のものである、また表門の方はと見れば長閑なお天氣に國旗がゆらぎ勳章胸一ぱいにかけた李武官長からフロックコートの閔長官、國分次官などが出入する、それに勝手口の臨時典膳室には女官の人々が

□眞鍮の椀 を澤山ならべて朝鮮式料理の調進中であつた、李王職事務官金東完氏は折から庭の落花を踏むで『殿下は殊の外元山の風光にお悦びのやうです、御覽なさい此處の景色は馬關の春帆樓以上です……』下の街には崩れ立つやうな

□新綠の間 に旗日和『此の向きなれば明十一日は咸興の道路は大丈夫でせう』と一同非常な悦びである(元山にて十日午前特派員)

▲接見式 元山に於ける李王殿下は十日午前十一時より御旅館の呉下なる元山府廳に於て官民廿七名の接見式を行はれた、式場は府廳階上の應接室、殿下は陸軍大將の御制服にて御機嫌うるはしくそれ〲叮嚀なる接見をされたのであつた、猶任接見せられたる人々の氏名は左の如し

(鐵道局)川江秀雄(判事)肥田德吉(檢事)川澤清太郎(憲兵司令官)松木弘藏(七四聯隊第一大隊長)佐竹彌榮(郵便局)若森美樹(稅關)矢野永三郎(土木局)野口耕一(運輸部)武富藤吉(新箭署長)橋本茂作(陸軍倉庫)近藤金太郎(分監)肥後盛至(測候所)山本龍藏(驛長)小栗太一郎(經理部派出所)田代卯三郎(在鄉軍人)市島恒多(府參事)李昌郁(同上)李濟鉉(府協議員)鎮谷愛介(商議會員)及川久次郎(同副會頭)石和房吉(學校組合會議員代表者)大塚榮四郎(同上)古賀庄太郎(元山每日新聞社長)西田虎三郎(十八銀行支店長)中島淳二(朝鮮出張所長)石川八十郎(水力電氣會社長)服部忠太郎(以上二十七名)

◆十八臺の自動車を驅つて 李王殿下御一行咸興に向ふ

李王殿下には日本晴れの十一日午前九時元山出發咸興に向つて愉快なる御旅を續けられつゝあり文川驛にては禦祖大王妃の淑陵より祭官出迎へ十一時永興驛に著之より十八臺の自動車を驅つて十四里程の咸興に向はるる可し咸興著は午後三時の豫定なり沿線新線の村には送迎者多數なり(午後十二時十分永興にて特派員發電)

◉五萬八千圓を 借出して逃亡

平壤府竹典里客主業金能秀(三二)は殷物仲買商として相當の信用あるものなるが本月初旬金の取引ありとて平壤府廳鄉里淺海新太郎、同府新倉里李道制、舘後里金子磐、同里寺正支店叙貫里美所增次郎、竹田里金用稷舘後里高瀨支店より金五萬八千圓を借出し六日逃亡行方を晦ましたるが債權者たる前記數名より平壤警察署に對し行政搜査を願出たり

◉放火狂の少年 通學が厭さに

黃海道長淵郡候南面小艾洞にては三月十八日以降四月八日迄に私塾書堂の燒失したるを初めに前後九回の發火あり全燒二戶半燒一戶を出し他は幸に即時消止めたるが發火は白壁のみにして屋根より燃ね揚るより部落民は何れも鬼火ならんと恐怖し居るを長淵憲兵分遣所にて探知し放火の疑ひあるより犯人嚴探中同面寒艾洞崔永祚甥崔寬補(一三)の處爲と判明し同人を引致取調べの結果書堂に通學勉強するを嫌ひ其不心得なるを教師及び叔父より責めらるゝより寧ろ書堂を燒却すれば勉強を强ゆる者もなかるべく尚附近の各戶に出火夥しき時は子供等を番人に置く必要あるべく其際自分も火の見番にならば通學を中絶し得べしと淺墓なる子供心より前記の如く放火したることを自白したりと

◆平南奥地の降雪

平安南道寧遠郡地方は五月二日午後二時より降雪あり積雪二寸餘に及びたるが氣溫比較的降下せざりしため農作物にはさしたる被害なかりしと(平壤)

◉肋骨を折らる

京畿道龍仁郡外四面長坪里農具鱗會(三七)は數年前同里吳順培の妻千蘭と私通したることあり然るに千蘭は本年舊正月中無斷家出して姿を晦ましたるより順培は鱗會が千蘭を教唆して家出するに至らしめたるものならんと疑ひ居れる矢先き舊二月一日夕刻偶同里の酒幕にて兩名會飲したる際端なく千蘭一件より爭論を惹起し互に搏鬪中鱗會は木枕にて順培を亂打し且つ拳固にて胸部を突き足にて强く蹴飛ばしたる爲め順培は左右肋骨六枚を骨折され肋膜炎を併發し心臟痲痺を起し遂に同月十一日死

◉大賊就縛 滿鮮各地を荒す

兵庫縣朝來郡生野町生れ常時住所不定窃盜前科四犯西川福三(三九)は本年二月九日永登浦監獄を出獄し爾來京城に入込み各所を徘徊し同月二十九日夜京城古市町古門新三郎方に忍入り小紋縮緬女羽織外四十七點(三百四十九圓餘)を窃取したるを手初めに三月十七日太平町二丁目洋服商青木某方に忍び入り銘仙男袷外二十四點(百二十七圓)を同二十九日夜龍山三坂通沖島壽郎方にて『スコッチ』地トンビ外二十九點(百四十三圓)を窃取し其足にて

▲平壤に逃れ 來り旅館に投宿中計らずも數年前旅順監獄に服役中懇意となりし橫濱市生れ窃盜前科三犯高木繁太郎(三九)に邂逅し此處に共謀し四月十一日夜平壤櫻町山本瀧次郎方に忍び入り茶色綾紗地オーバルマント外十五點(五十四圓)を窃取し續て四月十三日夜平壤黃金町毛利義高方に忍入り黒絽羽織外四十二點(百四十七圓)を窃取し

▲同夜新義州 に逃走し翌十四日夜同地榮町原田律夫方に忍入り大島男袷外二十四點(五十九圓)を窃取し安東縣五番通村川某方に潜伏中平壤署の寺田刑事に逮捕せられたり而して共犯者たる高木繁太郎も二十八日平壤署の手に逮捕せられたるが兩人共窃取したる物品は平壤市内の質屋古物屋に質入れ又は賣却し其金を以て豪遊したるものなりと(平壤)

亡するに至りたるより鱗會は即時其筋に檢擧され此程京城地方法院の公判に附せられたり

◉發狂して實母を慘殺す

京畿道金浦郡大串面大門里朴壽男弟朴壽萬(三二)は三年前より精神に異狀を來し一室に監禁し沈鬱肥にて狂躁も動かず無言の有樣なりしが五月三日夜俄かに發作したるものか起き上り橫貫付金氏(六八)の寢室に侵入したるより驚きたる金氏は懸命に逃走したるを追及し自宅を距る六十間許りなる同里張永順方の外庭にて追ひ縋り携へ來りたる杵を以て唯一撃の下に金氏の頭部を粉碎して即死せしめたり急報に接し金浦署にては即時警官驅付けて犯人を逮捕したり

樂しき野遊び

新龍山幼稚園では十日のお晝から龍山の孝昌園の松林内でお母様お父様など共に野遊會を催しました、緋の毛氈を敷き詰めたやうな芝生の上にお辨當を開きました、そして愛歡の歌を唱つたり、鬼ゴッコをしたり角力を取つたり樂しく遊び暮して日の暮れるのも覺ねない位でした。

◉盧津禪師出發

永源寺派管長盧津禪師は九日來釜妙心寺に留錫中なりしところ十日夜出港連絡船高麗丸にて出發博多に向ひたり(釜山特電)

◉鮮人豪農美擧

全北井邑郡泰仁面泰興里豪農金正洙(五五)は公共事業に盡瘁せしこと少からざるが此程一門なる近親十一戶に各百圓宛總計千一百圓を分與したる上何れも勤儉力行すべき旨を諭し尚同里納稅組合に六十圓を寄附し今後は之れが利子を以て各戶の戶稅を補充すべき組織に改めたりと又同郡石谷面方榮里朝鮮郎官源(五九)は還曆祝賀記念として貧民を救濟し其の金を出せしが契員一般に對し納稅の義務を説き契金を以て同面九百三十九戶の全戶數百四十餘圓を代納し尚饑饉代約二十石を貧民に配給したり

◉總督府傭人運動會

總督府給仕、守衞、小使等傭人の運動會は來る十三日の日曜を卜し獎忠壇に於いて開催する由なるが約四十回に亙る各種の競技あり尚は自轉車の分列式、全員の綱引、西鄉銅像除幕式、假裝行列の奇抜なるものある由也

◉猩紅熱

京城明治町一丁目五十四番地村上鮮子(一三)は十日發病猩紅熱と診斷患家は消毒の上患者は總督府醫院へ入院せり

◎面事務所燒く

去月卅日慶北義城郡龜川面事務所より出火し同建物を半燒したり出火原因目下取調べ中なるが書類は全部取り出したり

隨從記

◆松の釋王寺を 過ぎて麥の安邊平野に

金谷生 ―第三信―

◇九日正午京元線第一の高原洗浦驛を過ぎてから汽車は三防の奇勝を驅つた。李王殿下は南大門御出發以來些のお疲れもなく隨員の者と窓外の風光に打ち興ぜられつゝある。

◇途中弓裔が榮華の夢を結れた谿流の下では特別列車は靜かに徐行して谿谷の風色を御覽に入れた

◇洗浦ではサット車窓をかすめた谷間の雨が三防の峽を出るとまたケロリカンとはれかゝる。此の分なれば元山の日程は心配はあるまい。

◇その間武藤事務官や金事務官は咸興、永興間の自動車が突然の降雨に泥路となり遂に駄目になつたと心配相に額を鳩めつゝあつた。都合によれば元山滯在を二三日延して殿下は先きに釋王寺を見られるかも知れねとの協議となつた。

◇汽車は松の釋王寺を過ぎて午後二時近く安邊の平野に出た。沿線の麥畑が青く靉むで空はまたドンヨリと曇つて來た。

◇何れにしても李王殿下の御展墓の旅、咸鏡南道の空は春の邇日に雲雀さへなく、雨も泥路もさしたる差支は感せられねであらう

◇午後二時三十五分、特別列車は安邊驛に著いた。驛頭には相も變らず白衣黒冠の人の山、元山にはあと二十分で安著の豫定。(九日午後二時卅五分安邊にて)

本舖 大阪西横堀 三宅當

第三日の成績

京城 オリンピック大會

▲極東選手權大會第三日(十日)は前日に増して入出あり大盛況を極む選手成績次の如し

▲八百八十碼 第一著(二分十二秒五分の一)多久儀四郎(日本)

▲砲丸抛げ 一等(三十五呎一吋)アルバレス(比)

▲ヴオーレーボール 支那對比律賓(引分け)

▲槍抛げ 一等(百四十六呎六吋)齋藤兼吉(日本)

▲半哩リレー 第一著(一分三十八秒五分の二)アブラン(比)

▲バスケットボール 日本對支那(支那の勝)

◎忘機吟社例會 同社例會は五月十三日(日曜)午後一時より大和町三丁目曹谿寺にて開催す

○妙心寺(長沙洞) 十二日午後一時より婦人會 管長著歡說話あり

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▼一口噺 『其時々の事』

一等 京城蓬萊町 蓬萊生

○戰國時代入民塗炭に苦むの句を聞いた鉱力屋『アハー昔から戰爭に亞鉛の値上げは附きものかな』 仁川 劍突

△熊公『大阪の藥天地で切腹した男がある』熊三『大方藥天地を極樂とでも思ひ違ひしてるのだらう』 京城 蔭波生

△はじめて渡鮮した人『寒になつてもこんなに寒くてはやりきれないよ』 京城 朝寢坊

○『ナニもう悲慘(選惑)するには及ばないよ』

△極東オリンピック大いに振ふと云ふ記事を見た田舍者地圖と申合點して『この選たろうに本は大成夫かしらん』

◉連絡船上陸客

八日午後十一時釜山入港壹岐丸 一二等客 一等(五名)酒井直一、長谷川爲藏、西村辨藏、郎、荒木英三郎、辻田佐二、林稀銑、石田正吉、竹本勝五郎、河井勁雄、鮮國人二名 三等(六十四名)

九日午前九時入港新羅丸 一二等客 一等(八名)渡邊哲夫、藤本利平、八百野勝郎、岸岡朔夫、西垣勝吉、同はるゑ、同とみ子、川村くわ、木田鐵夫、西川延男、道田久三郎、千頭吉、藤鳴山、小倉附文治、同さう、同ふみ、岡崎良馭、歐米人三名 三等(百六十一名)

九日午後九時四十五分釜山入港對馬丸 ……

十日午前八時四十分釜山入港高麗丸 森本容甫、同ます、同せい子、山際松太郎、同ふし、グルマン、渡邊とき、宮川源、同みよ、森口英一、伊藤留榮、山田しげ、安達菊治、大西毅吉、富源模、小野傳二、高木俊郎、鮮國人一名 三等(六十四名)

矢野哲…、中野… 近藤宗…、小田安太郎、… 野幸吉、中村いと、同正行、和泉辰之助、三好傳次郎、森山米藏、岡本信近、同ひな、吉原みき、同次郎、高久しげ、安部さし、同よ子、… 次(…)

懸賞課題募集規定

△下旬付『高麗』 募切 發表 同十一日 同十二日 同十一日 同十三日

▲用紙は端書又は……同形の洋紙に……紙上の雅號又は……匿名の外必ず住所氏名明記の事▲……は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲……發表後一週間以內に……

天氣 曇り少雨

▲五月十二日(十一日午後六時十二日午前六時)

晝間十四時間 夜間九時間五十六分

商況

東京公債直取引(十一日出來値)

五分利特別	九七、五〇
五分	―
一回四分	―
二回四分	―
甲五分	九七、七〇

京城債券現物特電(十一日出來値)

京城鐵道	―
東拓	―
朝鮮銀行	六八、五〇
朝鮮殖産	―
南滿鐵道	―

深川在米特電(十一日現在高)

內地米	一七九、四〇
鮮米	一六、一一〇
台灣米	一、六八〇
外米	三、七三

東京期米特電(十一日前場)

	五月限	後場
寄付	一七、八〇	―
高値	一八、一〇	―
安値	一七、四〇	―
止め	一八、〇〇	―

大阪株式

日本郵船十五圓同新株八圓東京株式十四大阪株式十五圓高

銘柄	拂込	十一日 後場	前場
宇治川水	五〇、〇〇	―	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―	―
東洋紡績	五〇、〇〇	八〇、四〇	―
合同紡績	五〇、〇〇	一三〇、一〇	―
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二六〇、五〇	―
同上新株	五〇、〇〇	一八〇、四〇	―
東洋汽船	五〇、〇〇	―	―
大阪商船	五〇、〇〇	一六六、〇〇	―
日本郵船	五〇、〇〇	二〇五、五〇	―
同上新株	五〇、〇〇	二三五、〇〇	―
堂島米穀	五〇、〇〇	―	―
東京新株	五〇、〇〇	三七七、一〇	―
大阪株式	五〇、〇〇	三一六、〇〇	―

大阪期米特電(十一日前場)

	當限	中限	先限
寄付	一七、一三	―	―
高値	一七、四三	―	―
安値	一七、九一	―	―
止め	―	―	―

下關期米特電(十一日前場)

	當限	中限	先限
寄付	一六、二七	一六、二九	一七、二四
高値	一六、三三	一六、三六	一七、三三
安値	一六、二七	一六、二七	一七、二四
止め	一六、三三	一六、三六	一七、三三

雜報

◉北滿小豆暴落 三割方 北滿の天井打ちより六日十二圓臺に下りし北海道産小豆は依然暴落して十日には又十一圓五十錢に下り同午後更に十圓…

八十錢迄落ちた旨入電あり其前途には買手あるも賣物なし目前活動商見越となりしに就ては

後電に下落安模樣と理由附けたるより見れば輸出筋が船繰の都合によりて相場頭搖するもやならむと思はる

◉滿洲大豆漸騰 十日午後大連市場の大豆は前日に比し現物八錢高にて四圓二十八錢先物は各三錢高にて五月限四圓三十六錢六月限同三十五錢七月限同三十四錢八月限同三十…錢五錢方氣配ありと

十一錢開原大豆 は赤前日より十一錢の四圓十一錢との入電あり向日銀相場は下落して換算率百十六圓九十錢さ前日より八十錢方下りたるにも拘らずかく大豆一齊高を待ぐるに到りしことは注意すべく之を本月四日に比すれば現物十七錢高五六七月限は十七錢より十五錢高八月限は同じく十五錢高にて開原は二十丁高に相當す更に各地出廻り狀況を見るに

北滿地方輸送不便にて各驛滯貨甚だし松花江解氷後の出數も貨車積み込み得ざるため貨車の輸送力增加の望み薄ければ今後の國營の見込立たず北滿線は又東支の貨車はあれど滯貨多く大豆の積出し地なく從來宇都洲の出廻るべき箇所も今は遂に三箇月に限され北滿地方の出廻り少なくされたる地方にて大豆油輸出好況なる產は北ともに

◉硝子器活況 一年中到着不足のため今後ふ價は同ばしき…

達すべく以て今後輸入引き合ふや否やは疑問なり

二十四圓に …特種の用に適すべき…

大阪相場は 先月二十五日頃一二割方の騰貴 を告げたるが右は… 用は却つて減退 鮮人向き需要…

◉蠅取器 者競爭の結果…

◉軍隊入札米 龍山陸軍十一日龍山精米所にて入札せる軍隊米入札落札は左の通り… 玄米三百石十四圓九十八錢龍山精米所、白米六百五十石十七圓四十六錢… 白米五百石十七圓六十錢

◉漬物類の近況 千梅…

六七分作と共に相場一圓方騰貴 …五十錢方を引上

◉苛性曹達氣丈

引き締るならむ 今後一層

苛性曹達は既報通り東京市場は依然品薄にて現物取引…先物僅に賣買…

◉六十個位は現存 …

次第に硬化しつゝ…

◉麥粉手堅し …愈々手堅く …

鮮內は需用期に入り荷動き活潑 …

◉牛莊炭の見本 …

京城正米

南大門の廻穀

玄米	三九	―
精米	―	―
白米	―	―

仁川現物市場

釜山穀物 (十日)

釜山水產市場 (十日)

仁川期米

▲十一日前場 天候晴天

前寄十七圓九十一錢と昨止より一錢高

更に新高値に上伸

期米 仁川米豆取引所仲買人 齋藤奈之助

の買注文各仲買店へ 多數入り込み

仁川米豆取引所

十一日の七月限

前場 寄付 十四圓二十錢 / 止め 十四圓二十錢 / 高値 十四圓二十錢 / 安値 十四圓十八錢 / 出來 十四圓十九錢

平均值段 一節 十四圓二十九錢 / 二節 十四圓十八錢 / 三節 十四圓十九錢 / 四節 十四圓十五錢 / 五節 十四圓十三錢

賣買取組高 五月限 二萬二千九百五十石 / 六月限 二萬八千八百五十石 / 七月限 二萬六千六百五十石

十日後場 五月限 一四、二二 / 六月限 一四、二九 / 七月限 一四、一〇

仁川期米 天候 晴天

▲十一日前場

仁川期米米豆取引所仲買人 大五仲買店 海岸町三丁目

●家族的大野遊會の當日

五百年以前の古雅な法要

奉恩寺の寶物も觀覽勝手

十三日の大野遊會當日奉恩寺では祖宗還忌の大法要をやる事は既報の通りですが同法要と云ふは春秋の兩季に盛んに執行するもので十數人の各末寺の住職が澤山な僧侶を引き連れて參加します當日同寺で佛様に供へる餅計りでも一石餘計を要する相ですから如何に其の盛大であるかゞ窺はれませう夫々法式に依つて美麗な法衣を著て彩色の鮮かな大雄寶殿での大法要洵に過ぎし藤原時代の優雅な法要を見る樣でせう式は今から五百餘年以前のもので鳥渡見られない古典的なものである相です同寺は特に今回は此の歷史ある最も古雅な法典を選んだとの事であるから當日は頗る盛んな事でせう式は午前十一時から始まつて午後五時に終る相です又た當日陳列して一般觀覽に供するのは左の寺寶です

▲**烏銅香爐** 今を去る八百八十六年前(高麗德宗時代)より本寺の中祖なる法鏡國師の傳來品なり

▲**人物搖鈴** 今を去る五百五十年前(高麗恭愍王時代)本寺禪宗の創主なる太古國師の傳來品なり

▲**純金佛** 今を去る三百餘年前江原道金剛山正陽寺の石塔を破壞せる際其塔中より出來りたるものにして本寺の前住持西山大師の傳來像なり

▲**玉梅花板** 今を去る四百年前文定王后殿下より本寺の中祖なる盧凝(普雨)禪師に下賜したるものなり

▲**瑠璃盃** 今を去る三百年前本寺の前住持泗溟大師より東上の際持來藏置したるものなり

▲**佛具床** 今を去る四百二十年前文定王后殿下より本寺へ下賜せられたるものなり

▲**金字壇經** 今を去る一千一百年前新羅時代に名筆なり金生の寫字にして慶尚北道善山郡馬耳山に在る馬耳寺の石塔を破壞せる時其中より出たるものなり而して三百八十年前より本寺の前住持彩岩(覺性)禪師の傳來品なり

奉恩寺の大木魚

●浦鹽の日本商人　勢力漸次增加

■**醜業婦撲滅說** 浦鹽の日本人醜業婦撲滅說は其由來する所過般ハバロフカに於て開催せる極東委員會に於て極東各地の日本人醜業婦撲滅を決議せしに原因し同決議は浦鹽日本等にも通牒ありたるも浦鹽領事界及び警察側にては衞生上又た治安上俄に醜業婦の全廢を不可となし當分之を許可するの方針なるが如く尤も公娼は此際全滅し私娼としての營業を默過するもの如く通稱曙町なる日本遊廓の樓名とも云ふべき番號札の標札は此程全部取り去られたるが同地營業者も私娼として今後營業を繼續するに至らんかと因にニコリスク及びイマン地方の日本遊廓は委員會の決議に從ひ全部閉鎖されたるが私娼として許可さるゝや否やは疑ありと

■**貿易益々旺盛** 浦鹽に於ける日本人の勢力は從來微々として振はず寧ろ醜業婦及び其關係者に於て一種の勢力を認めらるゝの狀態なりしが歐洲戰亂以來日本との貿易は益々旺盛となり從つて有力なる商人も増加するに至り且つ外商の衰微は頓に日本人の勢力增大を來し又た其品位を向上するに至り今や露人は唯一無二の親友として邦人を待ちつゝあり斯狀態なるを以て今回の日本人醜業婦撲滅說に就ても營業者以外の邦人は日本人の名譽の爲め寧ろ之を歡迎するの傾向ありと

■**革命と太陽暦** 露暦は普通の暦と異り十二日の差あり例せば太陽暦の五月十五日は露暦の五月三日に相當せり然るに露國新政府は今回其暦の上にも革命を行ひ一般歐米各國に於て採用しつゝある太陽暦を用ゆる事となり本月一日より愈々之を實施せるが當日浦鹽にては市民一般休業して之が祝賀會を競馬場に催し後行列を爲して市中を廻れる等孔だ盛況なりし(浦港)

□**大邱山の酒呑童子**

數年前より慶尚北道は大邱山に立て籠れる酒呑童子あり、兎く延び良く肥わ色淺黒く眼光射るが如く聲鐘に似たり、余嘗て其の酒量を聞く三升は易く五升にして適度、麥酒は味水に近く寧ろ飮まざるを可とすと、而も亂酔泥の如く蹌踉倒れんとして漸く支ふるの醜態を演せず、或は劇飮終日なるも頽れず自若として能く百の子分を指揮せり、再聞く、年齒四十有三、尚ほ且つ四五の子寶を得るに熱からずと、彼れ姓は岩永、名は善次郎と稱す(大邱)

◇是から賑ふ

延平島

石首魚の盛漁場　千數百隻の漁船

仁川を距る約四十浬の西北方に延平島と言ふ絶海の孤島がある、此の島は黃海道海州沖にあつて人家は

▼**僅かに二百戶** 内外、冬は黃海を吹き暴れる颶風と、暗澹たる降雪と、狂瀾怒濤に惱まされて、居住民は殆んど蟄居の外は無い有樣だが、陽氣がだん〱加はつて、石首魚が來游する花の四五月頃ともなれば遠くは媛姬屁兒島方面から、近くは木浦群山忠淸道黃海道仁川近海などから千數百艘の漁船が來集して宛も戰場の樣な繁昌を呈する、近く同島を視察して來た某漁業家の談に依れば延平島は咸鏡道の明太、全羅南道の鯛と共に

▼**朝鮮の三大漁** 場の一で石首魚の漁場を以て知られて居るが例年四月末乃至五月上旬から約一箇月間は盛漁期で此の期間になると内鮮漁夫約一萬計りが延平へ〱延平へ!!と押寄せて來る、此の後を追ふて來る賤娼婦も又五百を下らず、豆腐屋が來る、寫眞屋が開業する、芝居を打つ、玉突がある、風呂屋が出來る、銘酒屋が軒を聯ねると言ふ具合で磽确不毛の孤島は一時に割れ返る樣な雜踏を呈する、然も人家は僅かに二百戶内外に過ぎぬから此の盛漁期には家賃が

▼**遽かに暴騰し** て溫突一間五六圓から海に面した部分になると十五六圓も出さねば借りる事が出來ぬ、從つて銘酒屋の如きすら砂地に莚を敷き、四面に幕を垂れて其の中で商賣を營まねばならぬのであるから其他は推して知る可きで物價の如きも平均値段の約二倍以上だと言ふから其のボロさ加減は想像外であらう、本年も既に數百艘の漁船が蝟集すると間も無く黃海道水產組合からは醫師を派遣して

▼**臨時に病院を** 設け木浦水產組合の巡邏船は船内に郵便所を設けて一昨日から同島に赴き、仁川からは總督府試驗船千鳥丸が漁獲物積取りの爲めに二三日前出航する、京畿道の漁撈傳習船も又今明日中には解纜する、仁川水產組合支部からも巡邏船が行く更に仁川海州間の汽船は六日から隔日毎に同島に寄港する事となつた、それ許りで無い何處からとも無く五六十名の賣笑婦が突如現はれて盛んに喜くれ男を惱殺して居るが今後盛漁期に入るに從つて益々其數を增して

▼**晝は白砂の海** 濱に喋々し夜は漁火紅燈輝やく不夜城裡管絃の響き耳を聾する樣は陸上の者の思ひも及ばぬ光景である(つゞく―仁川)

夏場所大相撲懸賞

東京大相撲夏場所は愈々十二日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

(太刀山　九州山)　(黑瀨川　大錦)　(鳳　栃木山)　(千葉崎　兩國)　(大響　逆鉾)
(石山　駒泉)　(大鳴門　源氏山)　(大戸平　宇都宮)　(紅葉川　常の花)　(玉手山　宮城山)

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顏合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は五月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平町京城日報社角力懸賞係と明記する事(當選者多數の場合は抽籤にて定む)

賞品　△一等一人　銀側懷中時計一個　△二等二人　上等反物二反　△三等三人　上等置時計三個　△四等十五人　上等卷煙草一ボール宛　△五等三十人　福袋一個宛

園藝いろ〱

◇**今が朝顏の種蒔時**

◆夏より秋にかけて庭園を賑はすものは何んと云うても花期が長くて變化の多い牽牛花が一番でせう朝がほにつるべとられてもらひ水こんな風流も朝顏でなければ見られない所です

◆通常は漏斗狀の花が咲くのですが稀には深く裂けて離瓣花冠とも稱すべきものもありますまたその裂け工合によつていろ〱の名がついて居ます

◆桔梗咲と云ふは裂け方が稍く淺く花の恰好が桔梗に似てゐるからで此の桔梗咲より裂け方の一層深いのを桔咲と云ひます

◆又桔梗咲によく似て裂瓣が一定の方向にねじれてゐるのは風車咲と云ひます形が風車に似てゐるからです又普通は五ツに裂けてゐるものであるが中には六ツに裂けてゐるのもあつてこれは六瓣咲といふ

◆同じ六つに裂けてゐても其の裂瓣が抱き合つたのが抱咲と呼ばれてゐますまた瓣が細くもれてゐるのは細切咲、細切咲によく似て多瓣なるは狂ひ獅子咲と云ひます

◆其他蝴蝶が花瓣に變じた樣子のを孔雀咲花冠の内底の筒が折れたのを茶筅咲と云ひこの茶筅の中より花瓣が五六瓣咲き出した樣なのを茶筅吹上げ咲と云ます

◆牡丹咲とは謂所八重の八重で雌蕊も雄蕊も悉く花瓣になつてゐるのを云ひますまた此の牡丹咲に蘂が出て蘂の先に風鈴を垂れたような物のあるのを風鈴牡丹咲と云ふ

◆其他花瓣が縮んでゐる縮緬咲き風鈴獅子咲、風鈴獅子牡丹、采咲など約百四十五種もありまず花輪の大きさは直徑三寸五分位までを中輪と云ひそれ以上を大輪と云ひます大輪には六寸以上になるのもあります

◆又牽牛花は主として花を賞ものですが近來は葉もなか〱見事になりました笹葉、柳葉、拘水葉、南天葉、柳葉、瑞人拘水葉、蔦葉、縮緬葉、紫鶴葉、手長など名高い丈でも五十種からあります

▲**牛肉の酢燒き** 牛肉を六七分程の厚さで適宜に一人前の大きさに切り組の上にのせビールの空瓶か又は擂木の樣なもので叩きそれを十分間程酢の中へ浸けて置き後取出して鐵鍋にバター又は牛肉の脂肪を少々入れ火にかけ其中へ肉を入れ兩面を強火で燒き中が少し赤味のある位の度として下ろし皿に取るのであります、之は一寸ビフテキの樣なものですが酢味があつて味がよく且つ肉を酢に浸けます爲め強い肉でも大變軟かになつて美味う御座います

聯合國傷病兵罹災者慰問會
寄附者氏名金額(第七回)

▲金貳拾貳圓貳拾錢 京畿道楊州郡州内面外二面總代崔瑞錫▲金貳拾壹圓 同郡榮面外二面總代沈彥淳▲金拾圓 同別内面外一面總代李海元▲金拾圓 同柴[illegible]面總代朴範鳴▲金拾參圓 同接外一面總代柳廷烈▲金拾[illegible]圓 同瓦阜外一面總代韓元教▲金貳拾壹圓 同九里外二面總代朴完植▲金百圓 平安北道昌郡東興面南社上村卯之吉▲金拾圓 同郡内面三宅熊清▲金拾圓 同松井木次郎▲金拾圓 同有田熊吉▲金拾圓 同鳳山郡沙院面崔潤植▲金拾九[illegible]▲金拾圓 黃海道海州郡[illegible]面[illegible]拾錢 忠淸北道及所屬官署職員總代柳赫魯▲金拾九八圓九拾參錢 平安北道所屬官署職員 深川傳次郎外二十三名▲金貳拾四圓百拾貳錢 忠淸南道及所屬官署職員總代上林敬次郎▲金拾七圓六拾錢 江原道襄陽郡江陵面有志總代朴誠範▲金拾圓 京畿道水原郡水原面國武朝鮮農場▲金四拾壹圓八拾錢 同水原面内地人總代近藤虎之助▲金拾圓 同利川郡邑内面總代趙鍾也▲金拾圓 同清洪面總代趙慶錫▲金拾圓 同[illegible]面總代崔寅容▲金拾圓 同栢沙面總代金徵根▲金拾圓 同寧星面南宮[illegible]▲金拾圓 同大月面總代蔡錫虫▲金拾圓 同雲加面總代南周熙▲金拾圓 同新北面總代孫[illegible]▲金拾圓 同果面總代李根泰▲金拾圓 同楊平郡龍門面總代梁貴煥▲金拾圓 同東面總代李吉[illegible]▲金貳拾五圓 同廣州郡驪總代徐廷厚▲金四拾圓 同中部面總代石瓊煥▲金拾圓 同江華郡府内面朴永根▲金拾圓 同洪元燮▲金拾圓 同佛恩面高有中▲金拾圓 同下道面權炳平▲金拾圓 同河内面柳寅大▲金拾圓 同南寺面榮相朝▲金拾圓 同松海面高成根▲金拾圓 同西島面金叢天▲金拾圓 同仙源面總代權泰國▲金拾圓 同吉祥面總代金永志▲金拾圓 同良道面總代李龍夏▲金拾圓 同河岾面總代黃學周▲金拾圓 同頭甯面總代吳明錫▲金拾圓 同木弓面總代黃德爾▲金拾圓 同三山面總代金東憲▲金[illegible]拾五圓 咸鏡南道定平郡田宅翁外五十九名▲金拾四圓 同永興郡韓國補外七名▲金參拾圓 同高原郡金相玉外二十九名▲金五拾參圓貳拾錢 同安邊郡毛利卯平次百九十九名▲金拾圓 同文川郡[illegible]内面千代榮蔵▲金貳拾壹圓 同三水郡高原乃外十九名▲金百八拾八圓 同咸興郡寺本中太郎外六百七十六名▲金參拾圓 同咸興郡[illegible]▲金貳拾圓 同咸興面[illegible]太郎▲金貳拾參圓貳拾五錢 黃海道及所屬官署職員總代[illegible]▲金七拾七圓參拾貳錢 同海州郡有志總代根木久作▲金六拾參圓五拾九錢 同延[illegible]郡有志總代武藤悅二▲金四拾六圓 同金川郡有志總代李[illegible]▲金七拾八圓九拾貳錢 同平山郡有志總代金[illegible]▲金拾六圓四拾五錢 同[illegible]郡有志總代有田勇太▲金參拾五圓九拾[illegible] 同瓮津郡有志總代山田榮作▲金七拾四圓四拾[illegible] 同[illegible]郡有志總代宮[illegible]政太郎▲金參拾貳圓[illegible]拾錢 同殷栗郡有志總代命木卞七郎▲金四拾壹圓八拾五錢 同安岳郡有志總代[illegible]▲金五拾參圓參拾[illegible] 同信川郡有志總代朴[illegible]▲金四拾六圓五拾錢 同載寧郡有志總代小川團▲金七拾壹圓五拾壹錢 同黃州郡有志總代柏村量次郎▲金五拾貳圓四拾 同鳳山郡有志總代佐佐見福光▲金四拾四圓九拾五錢 同瑞興郡有志總代金[illegible]▲金參拾貳圓四拾[illegible]
[illegible]
計金千四百六拾九圓四拾錢
累計金貳萬四千九百八拾四圓八拾四錢
▲正誤 第六回報告中朝鮮郵船株式會社ノ金參拾圓ハ金參百圓ノ誤植ニ付訂正ス

[illegible]山本秀幸、平田惣太郎、野村清太郎、同けさお、同浩、同つね子、同鶴子、田中なつ、竹迫時子、八束しげ、佐瀨旗誠、淺原美雄、同喬樹、同高晴、佐柳安子、安藤かつ、飯田餘助、關谷よし子、古殿丁丑、藤田榮次
[illegible]中西靜子、宮原いく、飯田松治、吉井清貞、小島栁、多賀華子、同枝仁三郎、金澤新平、同くま、菅柳すぎ、同のぶ子、稲葉小まつ、同たつち、山田たみ、同直距、小池三郎、江口又一郎
[illegible]之丸二等客 一等(六名)由淵勝次、一宮房次郎、小野英二郎、川瀬[illegible]、内藤政次、外國人一名 二等(二十五名)松岡秀吉、澁鉄智吉、宮木寄作、横山安一、澁鉄たれ、片岡良一、矢部蔡造、
[illegible]丸客 一等(十二名)平沖耕次郎、山梨半造、谷貫夫、大石陸章、島岡亮太郎、奥田鶴造、中村辰九郎、英國人二名、和蘭人二名、祇園精次郎 二等(四十三名)古川亀次郎、岩城宇太郎、同幸治、小林富三郎、小山光司、紅林廣吉、同高勝、村上忠茂 三等(二百三十七名)

△川柳「足」 同十四日 同十五日
△物は付「差出すものは」 同十五日 同十六日
△謎「電報と掛けて」 同十六日 同十七日
△一口噺「其時々の事」 同十七日 同十八日
▲投稿者には五十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

報
[illegible]

軍隊拂下被服類 特別廉價販賣
夏物 メリヤス シャツ ズボン下 サルマタ
京城北米倉町 電二一二番
メリヤス雜貨卸商 村上商店

期
曾我商店
米

良職業あり、
高尚有利の事業なり今回大に地方支社長を募集す返信料參錢郵券を添へ至急申込む可し直に採用し規定書を送る
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地
帝國法律普及會

金剛山

自園宇治茶賣出
世界一の銘茶
一服疲勞を慰し食を消し二服能く心身を強健にす
御家庭、御進物、御接客用には本場宇治茶の御賞用に限る
定價表
◎玉露製 桃山 八圓 福壽 五圓 無盡 參圓 萬壽 貳圓半 瑞雲 貳圓 大極 壹圓半 平等 壹圓 濟勝 壹圓 全命 壹圓 延命 八拾錢 紅茶 壹圓
◎煎茶製 大 壹圓半 長 壹圓 萬 八拾錢 喜 七拾錢 大 六拾錢 平 五拾錢 小 [illegible] ◎折物製 友 壹圓 一文字 壹圓 [illegible] 上 八拾錢
◎金高貳圓以上の御注文は送料弊園負擔 ◎地方小包毎に增料 ◎金高貳圓以下は送料申受 ◎御用命は御葉書次第引換小包にて速に發送仕候
本場宇治茶發賣元 澤文茶園
(本店)伏見桃山(自邸)宇治 電話六〇一、三三三 振替大阪四〇九九
京都桃山 澤文商店(澤文旅館)

京城黃金町三丁目 電話二四四三番 振替京城三三八番
内科眼科小兒科 本田醫院 院長 本田建義
痔核。痔瘻。脫肛痔 裂痔。痔出血。直腸脫
本田醫院附屬 京城肛門療院
肛門病の詳細痔疾持運注射根治療法解說書入用の方は郵券十二錢を要す

腦病良藥 レーベン
岡田博士を初め、日向、飯島、稲田、内田氏等十有餘名の諸大家が有効を證明し或は推奨せらるゝは、本品は最高貴藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり故に腦病、神經衰弱、頭痛、眩暈、不眠、記憶力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積と体裁を嵩らず服用極めて少くして効驗極めて大なり
藥價(三十錢・五十錢・八十九錢・一圓六十錢)
東京銀座弓町 電話京三〇八番 振替東京[illegible] 中南定太郎
大阪安土町堺筋 電話本三〇〇七番 振替大阪三四〇番 中南定太郎
信用ある藥店に有り無ば直接注文乞

●愈々大提供
五月九日より未曾有の大眞寫
天活數年計畫大撮影 映寫時間三時間
坂田金時 一代記
名優の定評ある井上正夫木下八百子
新派 春之潮 全四卷
五月五日午後五時
噫大阪安治川の大悲慘事
△實に阿鼻叫喚△實に凄慘見るに不忍△死屍累々として横たはる△宛然噴火山の麓
天活會社の決死撮影隊の努力に依り逸早く
明十日より 黃金館

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

旅行用具一切
◆鞄製造(御好みにより如何樣にも調製可仕候)
◆柳製專賣品トランク
◆洋傘(本年流行新荷著)各種
◆其他雨具ゴム引マント 魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

美滿津運動具
ローンテニス ベースボール フットボール ヴオレーボール オリンピック其の他總ての運動用具一切の
製造元
東京本郷五丁目 美滿津商店 電下八四五

内科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七九・一三〇九番

明君道中記

第百四十二席 田邊南龍口演

土井大炊頭は席を進み 大『御諚御最もには候へども然し乍ら三ケ所一度に攻立んとする時には先十萬の兵あらざれば此の城攻は思ひも寄らず手前の考へには先づ宇都宮を先に攻め破り候はゞその勢に驚き必ず鳥井左京之介平岩主計頭は才を交へずして降參いたさんと存じまする、依つて城攻の儀は一層嚴しく遊ばされて宜しうございませう』と申上げたる時に大久保彦左衛門が進み出で 彦『アイヤその儀に就いて彦左衛門一言述べたき事ある』と前へ出たる時に一同是を見て居りましたがそれ又彦左が出た何を云ふかと思つて居る 彦『恐れ乍ら此の彦左衛門十六歳にして總角の昔天正三年未だ大久保平助と申して 家『それはモウ語るには及ばん一同存知て居る 彦『イヤこれより申し上げねば何うも申し惡うございますれば 家『又しても左樣な事を……彦『神祖の御馬前に働く事年久しく御生涯が八十四度の戰に御離戰四十八度、その戰に缺る事なき某、されば戰を爲す事は心易く思ひ居りまする、然し此度宇都宮へ人數を進め出羽の山形上州厩橋三ケ所に一時に兵を進めるは離き事でございまする、それより器量ある者を一人上使として彼の地に遣はしめ辯說を以つて鳥井平岩、又本多上野介、是等を江戸表にお呼寄せにあるが然るべくと存ずる、その使ひに應せず先方に於いて穩ならざる事あらばその時は一時に押し寄せて攻め落すべし、先づ最初上使を差向けることこそ然るべくと存じまする』傍に控へたる紀伊大納言殿 紀『コレは彦左衛門が申す處に予も同意いたす今天下泰平とは申しながら半治、半亂、中ば治ると云へども關ケ原大阪の戰、程經ざれば關大阪を脱れたる者幾千人、江戸表に潛み居るも知れず今大軍四方へ出すその跡に如何なる珍事の起るやも計られず、されば先づ穩を以て宜しといたす、器量ある者を遣はして辯說を以て三大名を江戸表へ呼寄る事至極良策ならん』との御同意、すると某も同意拙者も同意と追々彦左衛門の說に賛成いたしました、將軍家も固より明智のお方故に 家『然らば彦左が意に從ふであらうぞ、然れど使ひは容易ならざる事である、されば何者に是を勤めさするか、その者を申せ 彦『委細畏りました』乃で彦左衛門四方を見廻し居並びし諸侯の面をヂロ〳〵見ました、さア驚いた何者に札が落るか、拙者が考ねにては大老井伊殿か、イヤ土井大炊頭殿、酒井殿であろう、それとも近習高名松平伊豆殿か、等と居並べる人々各々思案をして居る 彦『エー幸ひにして彦左衛門見當りました、此者なれば大丈夫、使ひの任務を完ういたしませう』家『誰じや』彦『彼方に控ね居ります上州群馬郡高崎の城主安藤對馬守の倅、本年十九歳に相成る右京進重長此者を遣はされまして然るべく存じまする』是を聞くと一同驚いた人もあろうに安藤重長、此の座に列して居るとは申し乍ら容量ある事を存じません、家光公も少しく御不審の御樣子 家『重長が宜いか』彦『左樣にございます、右京進なれば三大名を說いて江戸表へ導く事は最も易く此段仰せ付けられて宜しからんと存じます 家『左樣か右京を是へ』仰せに依つて重長は御前へ出る 家『重長鳥井左京平岩主計本多上野の三名を生捕りて江戸表へ召連れ參るやう、此度の使は其方に申し付ける』若年の重長故御辭退申すであらうと思ひますと 重『委細畏り奉る、右樣の大役若年の拙者へ仰せ付られ家の面目身の冥賀有難き仕合に存じまする』と御受をいたしました。

宮内省御用達
最上清酢
登録商標 MARUKAN
品質及釀造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油株式會社京城出張所
電話二四五番

花柳病 皮膚病
須古醫院
京城府永樂町一「商品陳列館通坂上
電話二一〇二番

五月十三日 九星
舊三月廿三日 乙卯
本命 一白 北 閉 先勝

▲一白 反故を生ぜんとす [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible]

法人登記公告

一、谷山地方金融組合登記事項中組合長崔錫杰、監事牟仁雨、金任楨、李元用任期満了ノ處大正六年四月拾五日改選重任ス
一、新溪地方金融組合登記事項中組合長趙晃熙、監事崔俊海、趙秉柏、朴贊稷任期満了ノ處大正六年四月貳拾貳日改選重任ス
右大正六年五月九日登記
海州地方法院瑞興支廳

演藝案内

黄金館 電話一六三七・六五二
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
五月九日より特別大興行
▲大阪安治川の大慘事 實に大悲惨の極みを見らるゝからに涙の落る場が有ります
▲滑稽幽靈の出る時 映寫地中海の海岸
▲探偵活劇父の秘密 說明 例に依て當館專屬日本一滑稽辯士久世吝濟說明 伊國チチス社作
[illegible]
▲新派春之潮 全四卷
[illegible]
▲舊劇實說坂田金時一代記
[illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番
大阪歌舞伎中村梅昇一行
五月十四日初日 前、曾我物語 中、四季模樣白縫物語 切、千本櫻道行

浪花館 明治町 電話二六〇
近日娘義太夫一座にて開演可仕候

有樂館 早川演藝部直營
東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴーサル會社特約
電話(陸上四九七番 陸下三一〇番)
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
[illegible]

御成座 御成町 電話二一九一
[illegible]

アナタの胃病には
強胃消化錠
マーゲンシ
八木田醫學博士處方
島田藥學博士鑑査
大阪東區上本町五丁目 田畑保藥房

大募集
官衙證明援助の五割益事業を懸郡に特約し自轉車を給す絶好の機見本呈す
東京市銀座南紺屋町 習字獎勵會

子宮病 血の道と せんきりウマチスに 脳む人は直ぐ試よ 面白い程よくきく
家方の 寒鳳湯
[illegible]

男 女 やせる藥
少しも害なくしてホソクなるやせ藥
二錢送れば知らせます 切手
播州加古郡阪元村 元庄

百圓
りん病 ばい毒
帝國醫科大學病院
百圓進呈
大阪 ドラッグ商會
京城南大門外停車場通
大阪 ドラッグ

宮内省御買上品
──醫學上皮膚効果第一等──

四五歳のお子供衆……になれば是非素肌を丈夫にし、此頃からキメを細かにして置く事が肝心で、衛生上證明ある本品を缺さず御塗なさるゝ樣望みます
十六七歳の娘盛り……は一番お化粧盛りの時ですが、惡い化粧料を使ふと折角綺麗な肌を毫無しに致します、素肌を美しくする本品を是非お用ひ下さい

五六月の日ヤケ
は一年中のお化粧の障となります

日ヤケは直接でなくても、蔭日でも自然と色が黒くなります、ホーカー液は螢光彩と云ふ學理上の作用で日ヤケを防ぎ色を白く美しく致します

東京で一番よく賣れる家庭化粧料
色白く 日ヤケを防ぎ 家内戸外の美人となる
ホーカー液

朝夕一二滴の効果
──色を白くする──白粉下ト水によく
──キメを細くする──男子の隠化粧によく
──血色をよくする──ヒゲソリ後に好適
──日ヤケを防ぐ──お子供の肌を丈夫にする

ホーカー液のお買求め方について御注意

▼全國各地の小間物化粧品店の瓶は何時も新しい
本品は獨特の瓶で光線の作用を應用してある故、幾年經つても大丈夫ですが、然しよく賣れる爲め、各地の小賣店には半月と同じ瓶が列んで居た事がなく、毎日新しい瓶〳〵と取更られて居ます

▼從來の樣に一瓶買なさるよりは御徳用な一打函
一打函は一瓶の値段よりズツと安くなり、殊に愛用者に御禮の爲め中に報酬券と云ふ景品券が封入つて居ります

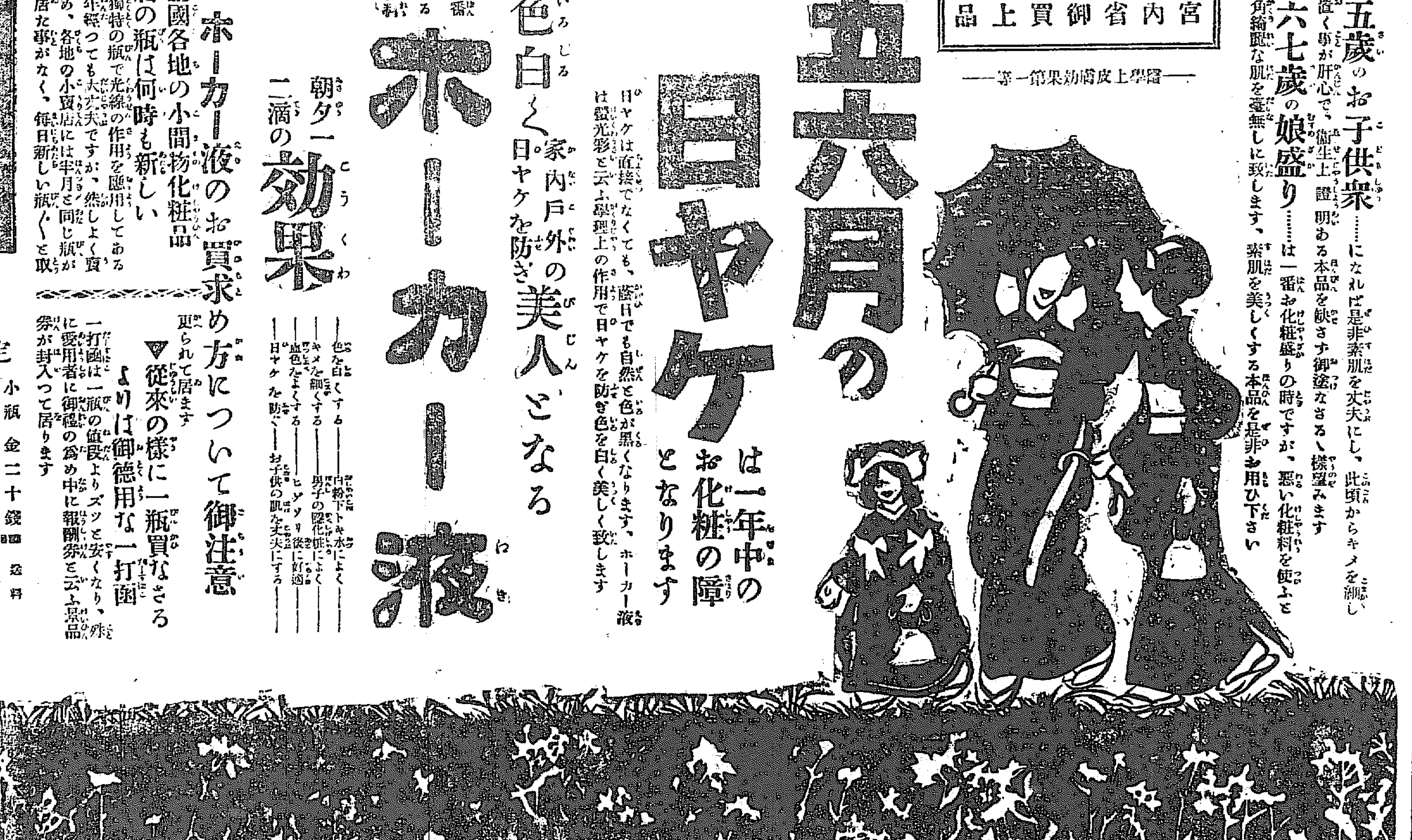
定價
小瓶 金二十錢 送料
中瓶 金四十錢 内地無料
大瓶 金八十錢 諸鮮卅錢

(說明書縮圖)

本品の詳しいお用ひ方法は大中小各瓶とも一本毎に「說明書」を添へて差上げます故それを能く御讀み下さい その上朝夕御使用なさる樣なされば必ず色を白く美人となる本品獨特のお化粧が出來ます

類品ばかりの御注意
本品は最も永き嚴密の研究を經、最も嚴密に謹製しつゝある優良品にして、近頃續出の類似の遞製品と同視無之樣くれ〴〵も願上候
最寄の店に品切の際は振替又は三錢切手代用にて直接御注文下さい

ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液
ホーカース井ート
東京神田和泉橋
本舗 堀越嘉太郎商店
電話神田(特長一四三、長一四四、一四五) 振替口座東京一五六



汽車
[illegible]

(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可) 大正六年五月二十日 THE KEIJO NIPPO 第二千四百六十七號 (一)

京城日報

第三版

五月二十日 (夕刊と合せて八頁)

定價 一部金二錢 一ヶ月前金五十錢 三ヶ月分前金一圓四十錢

廣告料 ▲普通五號活字一行金五十錢 ▲特別六號活字一行金七十錢

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

京城太平町一丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話(編輯局)二四五番 (營業局)二二二番 振替貯金口座京城二〇〇番

大阪株式特電

東京株式 大阪株式

朝鮮陸地棉作

木浦に於ける棉作十週年記念會に際して

總督府技師 中村彦氏談

△棉作の擴張 陸地棉の栽培を奬勵す可く初めて之を全南に植栽せしより玆に十年、其の間幾多少の困苦若干の支障なきにあらざりしと雖も之れが作付反別は此年顯著の增加を示し殊に總督設置以來陸地棉は朝鮮農産物の一として一段の力を用ふるに至れると其栽培の有利なること漸く農民の周知する處となり增加の成績益々顯著を呈し當初の作付反別僅に四十餘町歩に過ぎざりしもの明治四十四年には二千七百町歩を算するに至れるのみならず大正元年には更に本府に於て陸地棉作擴張六年計畫なるもの樹立し南鮮六道に對して極力之を奬勵したる結果昨五年には四萬八千町歩に躍進しまた本年は七萬町歩、明年は優に十萬町歩を超過するの見込也、斯作付段別の擴張に從ひ産額亦次第に增加し栽培當初即ち明治三十九年に在ては實棉數量二萬五千斤に過ぎざりしもの同四十三年には八十五萬斤となり昨五年は三千萬斤の多額に上り同年中此の價額百七十萬圓の多きに達せり

△異常の好績 內地に於ては內地に移出せられしもの少許の在來綿を合し繰綿として約四百七十萬斤明治七年頃より既に之れを試作せしものありしも結果良好ならず明治二十七年東京に於いて棉作奬勵會設立せられ新に種子を米國に仰ぎて大阪府外三十五府縣に配付し試作せしめたるも風土の關係上之れまた終に好成績を擧ぐる能はざりき、然るに朝鮮に於ては前述の如く僅々十年にして既に顯著の成績を見るに至れるは畢竟陸地棉が朝鮮の風土に適し天惠を受くること內地に比し遙に大なるものあるに依るは勿論なるも亦官民の一致協力に負ふ處鮮少なりとせず而かも此の間本事業に投せる保護奬勵費は僅に百萬圓に過ぎず之を臺灣總督府が糖業改良の爲め支出せる保護奬勵費に比すれば殆ど同一の論ならざるに拘らず朝鮮の棉作改良奬勵事績は臺灣の甘蔗作改良奬勵事績と駢むで殖産界の好評嘖々たり以て鮮內の官民が如何に棉作の改善に苦心したかを察知し得可し

△成功の結果 朝鮮に於ける陸地棉作の奬勵が爾く多大の好成績を收め得たる結果として直接農家經濟を豐かならしめ延いて國家經濟上に寄與するところの多大なるは勿論各方面に齎らせる間接的効果の少からざるは吾人の喋々を要せざる處也

△需供の關係 翻って朝鮮産陸地棉の消費地たる內地の外國棉花輸入狀況を見るに毎年驚く可き多額に上り大正四年の如きも價額二億二千萬圓、繰綿として七億二千萬斤を算せり、此の內印度綿六割以上にして第一位を占め米綿之に亞ぎて二割强、他は支那綿埃及綿等なりとす、而して大正五年は時局の關係上紡績工業著しく發達せるに依る可きも其の輸入額は更に增加し價額二億八千萬圓數量八億斤に上れり、然るに同年中朝鮮綿と用途を同うせる米綿の輸入數量は一億六千萬斤に達せるも朝鮮よりの移入額は僅に五百萬斤を越ざるを思へば今後鮮內の棉花は如何に多産さるゝも其の販路に窮するが如きは萬あらざる可きが故に將來益々之が産額增加の途を講じ以て工業原料獨立の一端に資せざる可からざれば將來如何にして陸地棉の生産額を增加せしむべきか之には二個の方途あり一は其の栽培方法を改良して反當收量の增加を圖り一は其の作付反別の擴張に努むるに在り而して之が實現を期せんには官民益々努力一致以て幾多の手段方法を講ぜざる可からず恰も木浦に於て陸地棉栽培十周年記念大會の擧あり斯の如きは棉作奬勵の一手段として最も時宜に適せる催しと謂ふ可く予は會心に堪へず此機に於て朝鮮棉作の概況を略述し以て江湖の一粲を博す

遊支所感 (十)

財政及金融

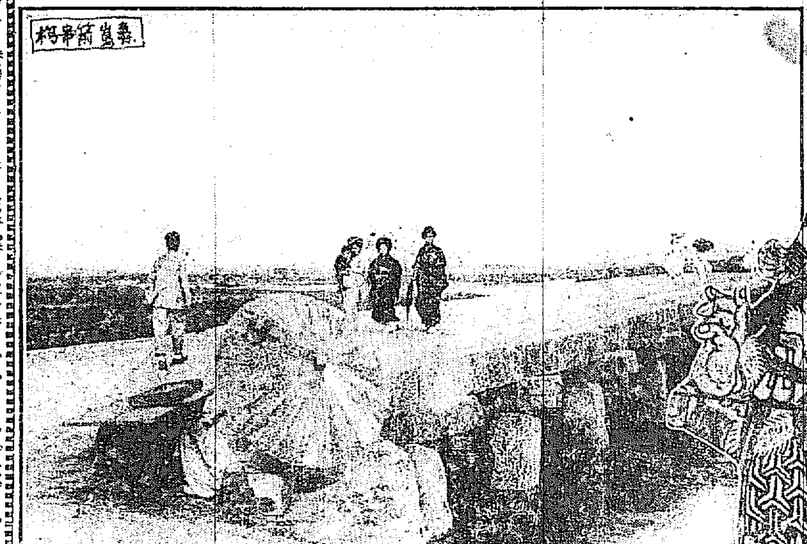
漢城銀行專務 韓相龍氏談

▽銀相場高騰 昨春來銀の相場非常に昂騰して五六割以上の高價を示し、昨今の如きも三十七ペンスの間を往來しつゝあり、銀價奔騰の原因は動亂の爲め歐洲方面に於ける補助貨の需要激增せるのみならず、昨秋の豐作に依りて此の需要大に增加の狀況に在り、搗て丶支那人等は銀價の昂上と共に益々之が貯藏に努むるより、數年前に在りては却って銀過剩の觀ありし支那は今や其の形勢を一變して不足を訴ふるに到れる等に因るものにして價格は益々上騰

埃及方面に對する印度國防兵への支給額は總て銀貨を以て支拂はざる可からず、從って支那銀は漸次此の方面に輸出せられ、又た印度の如きもの趨勢あり、現に上海方面に於ては一昨秋の外國銀行手許在高中銀は六千萬元を算したりしに昨今に至りて漸く二千萬元內外に過ぎず、爲に支那は各地とも金融逼迫を告げ、昨冬十一月の交に於ては其程度絶頂に上れり、但し頃者米國より若干の輸入ありし爲多少の緩和を得たりとはいへ依然逼迫の域を脫する能はず。

▽金融の逼迫 銀の高騰は貿易上に於て輸出を阻み輸入を助長するの現象を呈し居れるが、金融の逼迫は外國銀行をして何れも非常の警戒を促がさしめ昨年某地方に於ける五百兩の荷爲替すら之を拒絶せし事實あり、支那の金融逼迫に對しては外國諸銀行は自國の貨幣を注入して以て之を救濟することを得ず、其の故如何といふに諸外國は何れも金貨本位なるが故に支那の逼迫を救濟せんとせば銀の市場に於て之を總換せざる可からず、從って支那の金融市場は各國共同市場より獨立し之と同一步調を執ること全く不可能なり、他日若し支那貨幣整理の問題に際會せば須らく之を金本位に改正せしめざる可からず

▽貨幣の整理 支那の貨幣は內外銀行の發行紙幣、造幣局製造の硬貨、銀錠銀錨の發行紙幣等其の種類幾百千なるを知らず、而かも其の相場は前述の如く各々相違あり、早晩之が整理の要あるは勿論なるも、予を以て曰はしむれば之は非常の難事たる可く若し强いて斷行せんとせば力を外國に藉り莫大の財力と兵力を以て此に當るにあらざれば其の目的を遂することは到底不可能なる可しと支那の貨幣制度に就きては多少の硏究の希望なりしも一二箇月の短時日を以てしては遂に其の一斑をも窺知する能はざるを知り遺憾ながら之を斷念したり



奉恩寺の壁畫

家族的大野遊會

花の纛島へ 奉恩寺大法要

綠の大深林 漢江湖上舟遊

大寶探しよ 妓生の鞦韆遊

來れ野遊會 愉快なる清遊

家族一同で 明日大野遊會

南洋見物 (10)

偉人ラッフルス卿 (下)

淺岡重喜(投)

此時に當つて歐洲大陸は奈破崙大帝に蹂躙せられ、和蘭の人民も又佛國の政治に服したのであるが、ラッフルスたるもの、好機逸すべからずとして、直に印度に到りミントウ大守に謁し、懇切に蘭領の瓜哇スマトラを侵略すべき事を建白した、大守大に賛成して其請を容れ、千八百十一年艦隊を整へ、九十隻の兵船をラッフルスに付與し、瓜哇の首府バタビヤを陷らしめた、ラッフルスの神將和蘭の瓜地を攻め和蘭のヤンセン總督を降した、是に於て瓜哇スマトラは英領に歸しラッフルスは瓜哇の副總督に任ぜられナイトの爵位を賜はるに至つた、ラッフルスは其新占領地にあつて瓜哇史を著したのだ實に英雄の胸中諄々さとして餘裕ありとも云ふべきである。

ラッフルスは瓜哇に在て極東の日本に注意し其和蘭東印度會社の長崎貿易を奪はんと欲し計畫正に熟せる時に際し、讀者の留に依り、スマトラ島ベンクレインの副知事に左遷されてしまつた、彼は此に挫折の爲に意氣を沮喪せる如き小人ではなかつた、其左遷地に在て大々的計畫は企圖されたのである、彼れ南亞細亞と南洋諸島の形勢を察し、英國の東洋貿易を擴張せんには、マレイ海の關門に一貿易港を所有せねばならぬと考へ、千八百十九年、印度の大守ワーレン、ヘスチングに具申した、大守は建議書を見て賛成し何處の港灣を問はず勝手に占領すべしと命じた、依てラッフルスはヂョホールの朱丹に交渉するに新嘉坡の新嘉坡港に埠頭建設權を認めん事を以てした、此時馬來半島に在る和蘭の官吏は百方妨害を試みたが、ラッフルス斷然意を決し、一日突然エニオン、ザヤックの英國旗を新嘉坡に樹て進んで朱丹を脅迫し、遂に五ヶ年賦を以て新嘉坡を購入してしまつた、和蘭國の和約成り、英國政府は瓜哇スマトラを和蘭に還付し、併せて新嘉坡をも還付せんとした、ラッフルス頑として聽かず和蘭をして新嘉坡占領を承認せしめたのである新嘉坡一度英國人の手に歸するや、それより馬來半島は英國領土に統一せられ、香港、上海、芝罘、天津、營口等支那の貿易港に於て英國の商權確立せらるゝに至つたためである。

今日に至り英國政府はラッフルスの占領地たる瓜哇スマトラの二大島嶼を和蘭に還付したる事を非常に後悔して居る、還付當時に於ける彼れの遺憾思ふべきである、彼は千八百二十四年二月歸國の途次、船火事に遭ひ、多年苦心採集せる博物學標品、スマトラ地圖、其他の調査材料を悉く燒失した、其翌年(我文政九年)七月五日英國に於て歸卒中を以て歿したのである、行年四十五。

花の散るやうに散りたし我も亦

商業登記公告

京城電氣株式會社資本增加ノ登記 增加資本ノ總額金參百萬圓、資本增加決議ノ年月日大正六年壹月廿日、各新株ニ付拂込ミタル株金額金拾貳圓五拾錢

右大正六年五月八日登記

京城地方法院

商業登記公告

商號新設 商號華成織物店、營業ノ種類織物雜貨販賣、營業所京城府鍾路壹丁目七拾參番地、商號使用者ノ氏名住所京城府鍾路壹丁目參番地李重華

右大正六年五月九日登記

京城地方法院

商業登記公告

合名會社明城社代表員高富厚ハ任期滿了ノ處大正六年五月參日重任ス

右大正六年五月八日登記

京城地方法院開城支廳

法人登記公告

平昌地方金融組合登記事項變更 事任期滿了ノ處大正六年四月貳拾九日改選ノ結果李晃普、李憲穀各再選重任シ江原道平昌郡大和面下安味里戶金準燁當選就任ス

右大正六年五月七日登記

京城地方法院原州支廳

商業登記公告

水原電氣株式會社取締役全員任期滿了ニ付大正六年四月貳拾九日改選 山弘、近藤畏之助、洪健燮再任 京畿道水原郡水原面新山里百四拾七番地 宇重三郎、同道同郡台章面迎通里百六拾八番地 吳得泳新ニ就任 監査役坂手重三郎ハ取締役ニ就任ノ爲メ大正六年四月貳拾九日辭任

右大正六年五月八日登記ス

京城地方法院水原支廳

一、ローブフエンダー 百貳拾個

右購買ス詳細ハ五月十二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

一、石炭(切込) 壹千噸

右購買ス詳細ハ五月十二日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

一、石炭(切炭) 貳百七拾噸

一、同 貳百五拾噸 各口

右購買ス詳細ハ五月十貳日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

競爭入札 購買

一、携帶用デクレメーター外壹點

詳細五月十二日ノ本府官報ニ在リ

朝鮮總督府遞信局

時代の推進は愈よ眞理を究めたる理想的回轉稻麥扱機を實現せしめ今や旗鼓堂々農界の貢獻に立てり

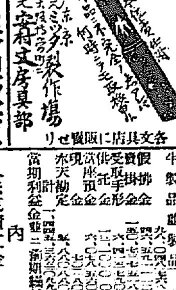
專賣特許 最新式回轉稻麥扱機

裝置新堅牢無比數點の特長を具備せる模範機詳細は說明書を看よ

詳細圖入說明書無代進呈す

特約販賣有利御相談に應ず

農功商會



十四金ペン先 スワロウ印 萬年筆

一円五十錢より 八円迄

朝鮮支部 特約發賣元 寄文房具部

各文房具店に販賣せり

有利なる 勸業債券 月賦販賣

貳千圓 千圓五百圓百圓拾圓等

九拾圓 クジ

勸業拾圓貳拾圓每月クジある標組合額面九拾圓で月二圓五拾錢宛總拂込金九拾圓を賣致します御申込は一回金貳圓三五七五番に御拂込次第契約證及クジ番號御知らせます月報無代進呈す

京城長谷川町 振替京城三五七五番

日本勸業銀行債券月賦販賣所

店員 齋藤榮松

同 松尾實太郎

同 山本誠治

右者都合有之解雇致候間今後弊店とは一切關係無之此段廣告候也

大正六年五月十日

高木商店

同 小賣部

最新刊

書名	著者	定價
◉判例 第一卷	東京控訴院編	四、七〇
◉近世應用鑛物精義	三浦 柴田	二、八〇
◉實驗音響學	村岡	二、五〇
◉東洋通史	高橋	二、六〇
◉早教育の天才	木村	一、四〇
◉獨逸國民の戰時經濟	外交時報社	一、七五
◉世界の過去現在未來	山路愛山遺稿	一、二〇
◉禮法と舉唄	香住	二、〇〇
◉株式相場必勝の手引	三輪	一、二〇
◉悟道錄	山田	一、〇〇
◉畫家と巴里	正宗得三郎	一、五〇
◉方丈記新譯	佐野保太郎	四八
◉世界偉人譚	稻村	四〇
◉彌生帖	小史	一、〇〇
◉春の鳥	竹久夢二	八五
◉わが愛誦歌	若山 牧水	八〇
◉幼きものに	島崎藤村	六〇
◉句集 炬火	臼田亞浪	六五
◉歸去來	國木田獨步	五〇
◉面白半分	宮武外骨	五〇

◉運動具文房具色々著荷致しました 御用の節は早速御呼に入れます

大阪屋號書店 京城本町一丁目

書繪畫用品一式揃

色紙、短册、畵帖、繪絹 繪の具、絖、筆、刷毛 其他附屬品一切

イッサン式速寫器 特約一手販賣

堀崎商店 京城永樂町二丁目 電話一七四〇番 振替京城一〇八番

第拾壹回決算報告

(自大正五年十一月一日 至同六年三月卅一日)

貸借對照表

資産之部: 未拂込株金 土地建物 機械器具 有價證券 商品 材料品 製品 半製品 假拂金 受取手形 賃金 預金 現金 當期利益金 [illegible]

負債之部: 株金 法定積立金 別途積立金 減價償却積立金 借入金 支拂手形 未拂金 假受金 前期繰越金 當期利益金 [illegible]

利益金處分

法定積立金	壹、參〇〇、〇〇〇
別途積立金	五、〇〇〇、〇〇〇
機械器具建物減價償却積立金	貳、五〇〇、〇〇〇
役員賞與金	貳、四〇〇、〇〇〇
株主配當金(年六朱壹株ニ付キ五拾七錢五厘ノ割)	貳、六五〇、〇〇〇
後期繰越金	壹壹、貳壹七、五〇九

右之通り候也

大正六年四月

朝鮮煙草株式會社

京日案內

普通五十錢 番外一圓 (二回以上前金)

◉生後一ケ月の男兒御乳有る方へ預けたし御希望の方は御通知又は御來談 京城南米倉町二四三 石井サナ 95

◉下宿屋至急讓渡したし 近邊に澤山官衙を控へ最も有望 (姓名在社) 89

社員大募集 經驗有無を不問本人來談特に商給支拂す 京城黃金町二 共保生命保險株式會社京城出張所 88

◉融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三の三二(柄澤前) 起木屋 27

文具小間物店 歸國に付至急安價讓る 姓名在社 98

◉有給外務社員五名至急採用志願者履歷書携帶來談月收五十圓以上給す 旭町九州商方特派員 上任品川芥泉 99

金融 官吏商人大小共秘迅速立替來談又は參上 京城本町二ノ五五 一ノ通り山田醫院入る角 柏屋 1

鯨 尾羽毛 御小賣 香月商店 京城明治町二ノ四八 2

質商 支店及び開店に極々適當の店舖物品入れ附き至急讓渡したし 姓名在社 96

◉自轉車月賦販賣に應ず 京城黃金町二丁目角 イバラキ商店 電二九二七 797

番外

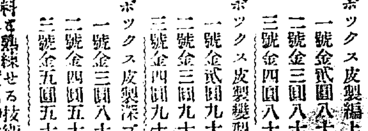
石綿鑛區並石綿鑛買入 京城南米倉町 蛇目鑛業所 內竹內 92

恩給年金即時立替 短期無保險取扱確實也 京城南大門外蓬萊町 山口屋 西鮮支店 京義線沙里院 廣川商店 60

京城春川間 合乘自働車 賃金片道四圓 京城發前八時 ◉春川發前八時 京城水標橋通り 京春自働車商會 電話二一三八番 支配人 松田壽男 70

信用なる東京日野製靴特價提供

ボックス皮 長靴 長サ 半長金五圓五十錢 本長金六圓



ボックス皮製編上ゲ 一號金貳圓八十錢 二號金三圓八十錢 三號金四圓八十錢

ボックス皮製變型 一號金貳圓九十錢 二號金三圓九十錢 三號金四圓九十錢

ボックス皮製深ゴム 一號金三圓八十錢 二號金四圓五十錢 三號金五圓五十錢

右は精撰せる材料を以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の節は左記の種類代金及足袋文數等詳細御通知被下度候御注文次第送料實費にて御送付申上候●最新型錄進呈す

東京京橋幸町 東京府認御用 日野製靴店

和洋家具 京城本町三丁目 増田本店

支那の形勢

▲北京形勢愈々不穩

支那衆議院は今(十日午後九時)尚開會中なるが門前群集の示威運動益々激烈にして段總理は五時半に至るも出席せず門外諸青種々行はれ或は中立議員は中途退席せんとし軍隊出動して之を阻止したりと言ひ或は段總理の出席前に宣戰案を否決せりとも云ひ物情騷然たり(北京特電)

▲支那參戰案未決定

衆議院は黎總統及び段總理の要求にかゝる參戰政策及び宣戰案を決定せずして散會せり(北京特電)

▲段内閣の高壓手段

十日午後一時衆議院門前の群集は議會が參戰案を通過せざれば承知せずと叫び反對議員等の周圍には多數の巡警包圍し居れり民黨議員は袁世凱の再現なりと憤慨し居れるが之等の高壓手段は勿論政府の計畫せる處なりと傳ふる者あり(北京特電)

▲段總理出席せず 反對議員十數名毆打

十日開會の衆議院全院委員會は段總理の出席を待ちたるが午後六時に至るも段氏は出席せず衆議院前の群集が全部解散したる後出席す可しと稱し居る爲め委員會は參戰案を討議する能はず反對黨の首領と目されたる議員十數名は議場にて軍警の爲め毆打されたり議員等は嚢中の鼠同樣進退谷まれり(北京特電)

▲段總理彈劾案提出か 參戰問題は全く討議せられず

十日午後八時三十分段總理は衆議院に出席す議員は門前の群衆が議員を毆打せる件を質問し之に對し段總理は暴徒に對しては充分調査の上法律に依り處分すべしと答へ次で段總理は衆議院の門前に立ち群衆に解散を命じたるも聽かざりしかば終に軍隊に命じ拔劍にて是を追ひ散らしたる後歸宅し議員等は院内にて善後策に就き討議して十時三十分散會し參戰問題は全く討議せられざりき民黨議員は段總理彈劾案を提出すべき模樣にて宣戰案も今回の暴動事件の解決する迄は會議を開かざるべしと猶日本人中野某は暴徒の爲めに投石され負傷せり暴徒の首魁には國務院參議院議員三名陸軍部の者等參加し居りたれば段總理は到底責任を免れ難かるべし(北京特電)

▲群衆示威行動激烈 衆議院内外の交通全く遮斷

十日夜衆議院々外の示威運動激烈を極め院外は更に一個の議會あるが如き有樣にて議員は夜十時に至るも院外に出る能はず食事をもとる能はず外界との交通遮斷され電話も切斷され亂暴なる群衆は同院を包圍して殆んど武力干涉に異ならず十時三十分騎兵は拔劍して群衆を馬蹄にかけ其の混雜名狀すべからず日本人通信記者某は礫の爲めに負傷し院の内外にて反對議員の毆打されし者十一名田桐氏の如きは負傷するに至り十一時に至るも院内の事情更に不明なり(北京特電)

▲谷總長辭職

谷農商總長は十日の衆議院議場内外の情況に憤慨して辭表を提出せり(北京特電)

▲張勳入京

張勳氏は十日入京せり(北京特電)

◎印度洋の獨艇 印度歸客談

十一日印度より門司に歸著せる船客の談に依れば獨逸潛航艇跋扈の爲め蘭領諸島と本國間に就航せる六隻のメール船は休航となり本國との輸送機關を失ひて大打撃を受け居れり最近同メール船を以て米國航路を開く可き計畫中なり、同地方の邦人の發展は開戰以來益々急速の進歩を見るに至りたるが我商船は目下其七分を占むるに至れるの好況なり(門司特電)

◎議會開期決定

十一日閣議に於て政府は特別議會に對する政策の打合を了し議會の開期を六月二十一日より二十一日間と決定し詔書は十二日公布せらる可し(東京特電)

◎山梨中將出發

九日大邱に到著せる山梨中將は十一日大邱聯隊教育狀况の視察を了したるを以て十二日午後一時二十三分發列車にて京城に向ふべし(大邱特電)

◎鮮鐵荷動狀况

四月下旬に於ける鮮銀の荷動狀態を見るに發送噸數六萬千七百一噸收入十八萬五千四百八十圓にして之を前年同期に比較するときは數量二萬千五百六十八噸(五割四分)收入六萬七千五百五十五圓(五割七分)の激增を示せり而して出荷の順位次の如し

一石炭二米三木材四雜五大豆六雜穀七豆粕八鑛石九鹽十魚・黑鉛土木炭の順序にして前年同期に比し增減の著しきものを擧ぐれば左の如し

▲增之部

米	三千四百噸	鹽	三千百噸
石炭	二千六百噸	木炭	二千噸
大豆	千百噸	雜穀	九百噸

▲減の部

豆粕	三百三十噸	鮮魚	三百九十噸
葉莨	二百五十噸	牛皮	百九十七噸

主要貨物の出荷概況次の如し

▲石炭 出荷數量依然主要貨物中第一位にあり前年に比し二千六百餘噸の增加せるも前旬に比すれば千七百餘噸の減少を示せり此は平壤炭の出炭減南浦經由山陽線德山海軍煉炭所行無煙炭の出炭減少によるものにて安東縣行無煙炭の荷動は依然活潑ず

▲米 荷動閑散なりしが本旬に入りては相場の昂進により荷動稍活況を呈し商賣關輸出も引續き取引好況にして總數に於て前旬に比し千五百餘噸前年に比し三千四百餘噸を增加せり

▲木材 需要期なれば荷動依然盛況を呈し殊に新義州發營林廠林の活躍により總數五千三百餘噸を出荷せり前年に比し二千餘噸の激增を示せるは(?)新義州營林廠の增設の爲め龍山大田大邱浦項行等用材荷動盛なるによる

▲鹽 前旬に引續き荷動活況を呈し一日平均四百餘噸を出荷し前年に比し三百餘噸の增加を示せり仁川發再製鹽多數を占む

▲大豆 大部分内地移出に係る本品の出荷數は產地制限のため毎旬大差なく一日平均三百噸位にして九割强は内地移出品なり

▲雜穀 米價高騰に伴ひ相場稍上向けるため取引好況を呈し前旬に比し五百噸餘を增加し二千百餘噸を增加せり品種は依然小豆粟小豆等にして滿洲粟の輸入は前旬に於ては頗る閑散なりしが本旬に入つては相場の下押なるため入荷活況を呈せり

▲豆粕 荷動好況にして前旬に比し三百餘噸を增加し千九百噸を出荷せり然れども前年に比較するときは三百餘噸の減少を見たり此が原因は前年同期に於いて異數の出荷ありたるに外ならざるなり

要之本旬の貨物は頗る好況にして石炭を大宗とし米鹽の出荷衰へざると需要期に入りし木材の荷動活況を呈し其の他一般荷動前旬に引續き概して良好なりしにより比較收入共に五割强の激增を示せるなり

◎鮮銀の鮮内金利統一方針 同業者へ貸出金利引下

朝鮮銀行が財界の大勢に鑑み並に鮮内各地の貸出金利に若干の高低を附せし從來の方針を一變し其の貸出標準金利の一定並に利下げを徐々に實行する事となりし事情は既報せしが更に鮮銀は鮮内金利統一の方針より中央銀行として京城と地方とを論せず其の必要に應じ同業者に貸出しつゝある資金の金利をも一率に統一すべく目下營業局にて各方面に對し調査を急ぎつゝあり恐らく遠からず其の實行を見幾干か利下げをなす事とならん其の結果は朝鮮銀行各支店出張所金利の若干引下げのみならず各地方銀行金利の低下並に平均となり朝鮮の金利は一般に漸次引下げらるべしと

◎仁川議員選擧

仁川學校組合議員選擧は來る二十一日なるが候補者としては現任議員なる稻田、北島、大石、山下、濱崎、淺加來、淺井、川添の九氏は當然立つ可く新顏として專ら噂されつゝ有るは熊本縣人會を地盤とせる兒玉氏を始めとして後藤廉平、白神專一氏等が運動を開始したるやにて其他にも美濃谷、辻川、安保醫師會より高木、淺井、佐藤の三氏の中より一二氏出馬すべく其他にも二三ある模樣なるが表面立ちて運動に著手したるに非ず何れも期日間際になりて猛烈なる運動を行ふ可く觀測され官吏側にては二名位の議員を選出する希望を有し居る由にて全部結束せば百四十内外の有權者あるを以て優に當選圏に入り得べく商業會議所和田書記長も亦二の足を踏み居るも一二周圍の者より慫慂され居るを以て形勢如何に依て立候補を宣す可しと(仁川)

◎英藏相支出案説明

英國藏相ボナー、ロー氏は五億磅の支出案を下院に提出して陳て曰く『今回の支出案は未曾有の巨額なり我國庫の支出は最近豫算を超過する事常にして目下一日の平均支出額は七百四十五萬二千磅なるがその内二百萬磅は聯合國領への立替金にして同項目の豫算額より日々百萬磅を超過し居れる次第なりされど米國の對聯合國財政援助が急速に行はるゝ事に依り豫算の實行せられん事を希望す』と(倫敦電報)

◎府教育懇談會

京城府教育懇談會は十二日午後二時より善隣商業學校に於て開催し道係職員並に學務局職員等も列席すべしと

◎京城府道路延長

京城府所管内道路の延長及び面積左の如し

一等道路四里二十九丁九十二間、二等道路一里九丁三十三間、三等道路二里十六丁十七間、等外一等十三里十一丁四十三間、等外二等七里二十七丁四十四間、等外三等三百十八里十八間、合計三百四十八里五丁五間、此面積百十五萬七千六百十九坪なり

入京者消息

▲石川鎮吉氏(平壤監獄典獄)▲中村哲男氏(公州監獄典獄)▲井川正義氏(釜山監獄典獄) 同上 十一日夜入京不知火へ
▲木谷伊助氏外七名(大阪米商滿鮮視察團) 同上
▲瀧澤新次郎氏(石橋銀行重役) 同上朝鮮ホテルへ
▲川崎吉兵衛氏 同上
▲稻畑二郎氏夫妻 同上
▲平田司郎氏(木浦船渠社) 同上
▲中村陽太郎氏(蒲洲製材重役) 十一日夜退京
▲明田伊賀松氏(帝國麥酒專務)▲松枝邦太郎氏(同) 同上
▲椎田韓作氏(煙草專賣局門司支局府中出張所長) 同上
▲松岡直温氏(圖書館) 十一日朝退京
▲楠瀬幸之作氏(代議士) 十二日朝退京の筈
▲松寺平壤覆審法院檢事長 十二日入京天眞樓に投宿の筈

南言北語

支那では益々對獨宣戰案がやかましくなつて主戰請願團とか云ふ三千人の團體が衆議院へ押し寄せたりして大分騷いで居るとの事▲支那の主戰派と非戰派との睨み合ひは實際甚だしいもので▲主戰論者と非戰論者は處々で衝突して鐵拳沙汰も珍らしくはないらしい▲議員の李肇甫君と云へば民黨の錚々たるもので日本育ちの氣持の好い元氣な人だ▲又た同じ議員の馬君武君と云へばこれも日本育ではあるが獨逸佛蘭西などに遊んで何でも五箇國語に通ずると云ふ有名な一人だ▲處が今度の宣戰問題で李君は贊成馬君は反對さあつて當年の親友が敵味方で睨み合ひ▲ツイ此の間兩人が衆議院の休憩室に落ち合つた時端なくも宣戰問題に花が咲いて▲馬君が此野良犬がと叫ぶ樣李君の頭ガンと喰はすと▲李君も何うして無言で居ようこの馬の骨がと立ち上つて▲上を下への取つ組合を始め双方少なからず負傷した相な▲此の樣な調子だから宣戰案は支那議會始つて以來の大論議があるだらう▲今度の選擧で最も多額の運動費を使つたのは先づ福岡の諸尾幾造君と久留米の大藪房次郎君など云ふ處だらう▲票數の割に使つたのは秋田の遠山竹三郎君で二十七票で六千圓島渡一票二百二十二圓▲同じ秋田の田中隆三君も大分使つたとの事だが實際に纏つた四票を取るに千五百圓とは本當か知らんテ▲事實とすれば選擧界の新レコードを作つた譯だ

支那遍歷 曲阜行—孔子廟と至聖林(三) 中島生

闕里の春

闕里の春は老ひて、栢林の烏鵲哀調を奏づる或日、年の頃は古稀を過ぎたらんと思はるゝ、丈高き一老人、病みさらぼひて力なき身を、杖に支へつゝ、遠ある家より立ち現はれ、門邊を逍遙す。此時何れよりか來れる一人の男、年四十許、老人の前に拜跪して、一拜、再拜す。懶けなりし老人の眼は、忽ち光る。『賜や、汝の來ること、何ぞ夫れ晚きや』と。老人は言ひも敢へず、天を仰いで吟ず『泰山壞れむか、梁柱摧けむか、哲人萎まんか』と。老翁の双眼に露あり、涙潸然として下る。更に曰ふ『天下道なきこと久し、能く予を宗ぶことなし』と。兩者相見て默然聲なし。——老翁の姿も、弟子の姿も、夢の如く消ね去る——顧みれば身は二千年前の幻想より、醒めて孔子廟の本堂大成殿の前に立てり。

奎文閣と杏壇

僅少の時間に見物したるなれば、孔廟の規模結構は、唯だ概要を錄し申候。曲阜の町に入れば、顏子の住みたる所に有名なる陋巷を過ぎ、直ちに孔廟の門に到るべし。陋巷とは街衢の名にて、陋穢なる巷の意味にあらずとも、聞き及びしが、決して綺麗な町とは無之、寧ろ穢ならしき町に候。先づ第一門を過ぐれば、小流あり、三橋を並び架す、一橋を渡れば數門相次で來る。櫺星門、弘道門、大中門、同文門など、順次に通れば、三層樓あり、奎文閣と名く。閣の高さ十二三間、間口十六七間、奧行約十間、堂々たる建築にて、昔の書樓なりとも云ひ、祭殿とも云ふ。金の明昌五年に奎文閣と命名せられたるなりとぞ。閣の左右には、唐、宋、金、元以下清朝に至るまで、歷朝の孔子の德を表彰せる數基の碑立てり。

奎文閣を北に進めば、大成、玉振の二門あり。前者は本堂大成殿に對する正門なり。玉振門を入れば、大成殿との間に杏壇と名くる小建物あり孔子常に杏樹の下に座して、道を講じたる跡を記念するもの也。大成門の内側、杏壇の手前に、孔子が手から植ゑたる檜と稱するものあり、亭々たる檜樹にして、此木は根より芽を生じ長へに枯死することなしと謂ふ。然れども、孔子時代のものは既に枯れ、今日存するは清朝の初に植ゑたるものなりとぞ。樹前に碑ありて『先師手植檜』の五字を刻せり。

老柏森々大成殿

大成殿は孔廟の本殿にして最大の建築物なり。階前の老柏森々として、崇嚴の氣人に迫るものあり。殿は高さ十三間、間口二十三間、奧行十四間、二層樓にて宏壯を極む。約十本の大石柱ありて廟を支へ、柱は大理石に成り、大さ三抱へもありて、皆龍を彫刻せり。大成殿の名は宋の徽宗の命名に由ると云ふ。上層の廂の正面中央に『大成殿』の大額面懸り下層の廂には四額を掲ぐ『萬世師表』は清の康熙帝の御筆に係り『生民未有』は同じく雍正帝『與天地參』及び『時中立端』は乾隆帝の御筆也。殿堂内には孔子の木像を奉安す。東魏の興和年中に刻せるものなりと云ふ。熟々其の像を拜するに、像の高さ十尺もあらむか、赭顏豐頰にして、鼻高く、眼大に、眼光人を射るものあり。聖人と云はんよりは、大政治家の風貌を備へ、威風四邊を拂ふ。像の前に位牌あり『至聖先師孔子神位』の八字を記せり。孔子像の左右には四配十二哲の像八人宛に分れて居並べり。左方なるは亞聖孟子、宗聖曾子、右方なるは復聖顏子、述聖孔子(子思)、以上を四配とす。次に子騫、伯牛、仲弓、子我、子貢、子有(冉子)、子路、子游、子夏、子張、子有(有子)及び宋の朱子の十二哲の像の各々等身よりも大にして、何れも顏貌皆相異なるもの相對す。

大成殿の右方即ち東に崇聖祠あり。五代祠とも稱し、肇聖王、裕聖王、詒聖王、昌聖王、啓聖王等、孔子の祖先五世を祀る。而して孔子の父啓聖王に對しては、別に大成殿の左方に啓聖祠を建てゝ祀れり。大成殿の後方に又一祠あり。孔子の夫人を祀る。更に奧に進めば、聖蹟殿あり。殿中に巨石ありて、石面に『萬世師表』の四大字を刻し、其の後方に石壁ありて、孔子在世中の行事を畫て之に彫刻し、聖蹟三圖と題せり。以上は孔廟を構成せる主要部分を概記せるに過ぎずして、孔子廟の總本山を叙するに小生の筆餘りに御粗末に過ぎ乾燥に流れ申候。

地方 (左端・一部欠損)

▲清州 ▲忠北教育普及 ……近忠北各地に私立學校…… 入學志望者數百二…… 新設せん方針なりしが豫算の…… 補助金の件決定せざりき…… なりと云ふべし ▲生牛屠殺減少 近……等の爲め…… 忠北各地に……

◎安東縣雜信 ……に至るべきが如く昨今孝に各方面にても研究を進めつゝあり ▲鮮銀支店長更迭 ……

◎客月慶北漁獲高 四月中……五十三萬六百十六圓……四百二十圓鬱陵島四萬二千四百十圓 合計六十六萬五千八百二十一圓に達

内外科 小兒科 花柳病 高井醫院 京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番
院長 正六位勳四等功五級 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彦
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

農家に限無代進呈す
◎農家各自及諸君の子弟にして一生涯を安全第一に立身出世せんと欲する人々は今直に往復ハガキにて本校に照會せば成功案內校則を無代進呈する
◎東京本郷新花町電話下谷五二三九番 大日本通信農學校 長子爵中園繁若
◎各地支部長巡回幹事募集 月收百圓以上履歷書に郵券五錢添送附あれ
▼會長中園子爵▼東京本郷新花町電話下谷五二三九 日本農會本部

努力奮鬪。相場の爲めに一身を捧げ。鐵血火の如き大決心を以て。百萬長者の基礎を作らんとす。切に!投資家諸彥の御後援を仰ぐ!
立志の礎說明書 貳百圓以上を放資し得る御人へ 無代送呈乞御申越
▼信託投資又は米穀直買同盟會類似の者に非らず 所謂激進・普通階級の人にも恥ぢざる主張
本社 大阪市堂島北町 電話長北一三九八 大阪機報社

文學士寺田精一先生監修
六月號 トモダチ
美しい繪と面白い教育お伽噺が滿載 特別大懸賞あり
○(手工附錄)トモダチレッシャ 全國書店にあり
東京麴町富山見町 二葉社 振替東京三一三六三 電話番町四〇五八

夏物 硝子器各種(製造開始)
右安價販賣仕候に付多少に拘らず御用命の程偏に願上候
進物用コップ御名入。ハイ取器 其外食器類一式御好應可申候
京城林町一六二番地(黄金町四交番所北へ入る) 小野玻璃器製造所 電話一七九一番
京城鍾路二丁目角 小野玻璃器販賣所 (電話二八七九番)

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、一三	四、三七	七、二八

山葉西川製 オルガン特約店
京城府南大門通二丁目 堀井謄寫堂京城出張所 電話長四〇二番 振替京城一〇五八番

海川魚御料理 鰻かば燒 柳川 すつぽん料理 一切
京城旭町一丁目 權平庵 電話二〇四六番
御客様の御贔負に反かぬ様にと客室料理萬端に一大改良を加へました是非共御散歩旁々御立寄被下まして一度御試し下さる樣願ます
中井ユク 謹白

◇大野遊會畫報

之れは野遊會場の最も呼びものとなつて居る蠶島の渡船場(上)と靖陵の大松林(下)である、此の渡場から船に乘つて奉恩寺の下へも行ければ對岸へも行く何の危險もない極靜かな湖水です奉恩寺から田圃道を二三町も行くと楢の林がある其處を進むと大松林に入る道は宛然たる緑の大隧道一面の芝生には菫や鈴蘭などがみつしりと咲て居る雉子や閑古鳥が鳴て居る

●子供の時に美しい朝鮮人

遠見に綺麗な建築=加藤靜兒畫伯談

入京中の畫家中澤弘光氏加藤靜兒氏が四日竹洞なる高木背水畫室に訪ふに加藤氏語つて曰く

今回は中澤氏及び中川氏と連れ立つて朝鮮の寫生旅行に出かけて來ましたが中川氏は郷里に急用が出來して遥かに途中から引還へしました自分は文展に出品された畫や其他の繪畫に由つて樣々と

○朝鮮を想像して居りました釜山に上陸した時の感じは全く畫で見たやうに明るい輕快な印象を得ました釜山から大邱までの沿線の風景は可成に珍らしく朝鮮家屋の形や草葺屋根の色なども大變に面白いものに見ました慶州の石窟庵は樣々に修繕されて居るのですつかり

○古雅なる趣を打ち壞して居ります、慶州で松林の間に舞ひ遊んで居る妓生の舞を見ましたこれは大變に面白かつたですそれから京城へ參りました京城は豫期した程ではありませんでした殊に門だの樣々の殿堂が無暗に修繕されて居るのは感じ好くありません京城で最も感興を引いたのは景福宮裏手の森林でありましたあの邊は實に靜で林もよし慶宮などが如何にも詩趣があります

○香遠亭の池なども非常に好いですあの橋など日本風の梢で調和が取れないがあれが朝鮮古風の石橋であつたならばと思ひましたそれから平壤に參りました平壤は話に聞いて非常に憧憬して居りましたからそれ丈けに失望しました何も古い

○建物や城壁は修繕されて新らしい布と古い布を繼ぎ矧ぎして拵へた著物のやうに醜く感じました殊にあの水道と水道橋とそれから保勝會で開いた道とは如何でせう私はほんとうに牡丹臺の自然美の爲めに泣かざるを得ませんでした何んとかと云ふ茶屋なども實に沒趣味な建て方です平壤で好い處は

○箕子廟の森ばかりです明日十一日は水原に參る考へです水原は未だ餘り人工を加へて日本的に成つて居らぬと云ふ事ですから多大の望みを嘱して居ります、朝鮮の建築は全く全體を遠くから見れば美しいが其の部分々々に就いて見ると何等讃歎に値するものがないやうに思ひます、又佛像なども支那印度等から渡來したものは別として朝鮮で拵へたものは何れも其の

○手法が幼稚で到底日本に存在して居る古佛像などに比すべきものではありません朝鮮人の服裝はあまりに單調で全體から見て殺風景ですただ妓生などは淡いながら衣服の色彩を考へて居るから美しく見えます朝鮮人の子供は皆んな可愛らしい如何にも愛らしい奇麗な、血色の好い朗らかな顔を持つて

○人形のやうに繪のやうに美しいですが大人になると何れも生氣の乏しい見にくい顔ばかりになるがどう云ふ譯でせうか要するに今度の旅行は豫期した程でない失敗の旅行でした随つて作品も極めて僅少です

夏場所

◆初日の勝負(十二日午前零時著電)

勝	負	勝	負
男島	外ケ濱	矢筈山	御西山
紀の川	預 玉の川	太刀嵐	花の山
綠分	國見崎	浦の花	浪泉
朝柳	東雲	大門岩	荒玉
琴ケ浦	龍ケ崎	常の花	鳴門洋
石山	若木山		
大潮	浦の濱		
玉手山	大の高	千葉崎	清瀬川
對馬洋	八甲山		
錦島	逆鉾		
九州山	鶴渡り	兩國	紅葉川
栃木山	大戸平	西の海	黒瀬川
鳳	源氏山		
△中入後			
柏戸	彌高山		
藤の川	綾川		
小常陸	若島	明	一湊
大鳴門	駒泉	土州山	逆の矢
眞砂石	釋迦嶽		
宇都宮	朝潮		
伊勢濱	宮城山	大錦	敷島

右手捌きは▲外●ケ濱●に男●島●は外二本差して寄るを男門に極めて廻り込めば外勢ひ餘つて踏切りて負▲矢●筈山●御●西山●は左四ツにて鳥渡寄り合ひ突き落して矢筈の勝▲紀●の川●に玉●の川●は玉左を差し頭捻りを曳かんとするを紀の川上手投を打つて同體に落ち預り勝負は玉丸星紀の川平星と決定▲花●の山●太●刀嵐●は突き合ひ左を差して寄り花は首投げを打たんとするを送り出して太刀の勝▲綠●分●國●見崎●は左四ツにてヨチ〳〵寄り合ひ水入後前同樣にて引分け▲浦●の花●に浪●泉●は浪懐ろに入らんとするを突き返して浦の勝▲東●雲●に朝●柳●は右四ツ東雲の出ハナを出し投にて朝柳の勝はキレイなり▲荒●玉●に大●門岩●は右四ツ寄り倒し大門の勝▲琴●ケ浦●に龍●ケ崎●は琴の引きかけるを龍待ッたの氣味なりしがそのまゝ立つて右四ツとなるや琴寄進み上手投にて勝▲鳴●門洋●に常●の花●は左四つ常得意の櫓投げに行かんとし鳴門堪へるところを上手投を打つて勝▲石●山●に岩●木山●は激しく突き合ひ岩木叩きても利かず尚ほ激しく突き合ひ右を當てゝ押切り石の勝に題の

▲浦の濱に大潮は當日の好取組なりバッタリ左四ツ浦の吊らんとするを潮殘し堪へて右上手を引き反對に強引に吊るを浦堪へて再び右を入れて本差しとなり吊身に寄るを上手投げにて大潮の勝は大喝采▲玉●手山●に大●の高●は鳥渡突き合ひ右四ツ大の下手投を打たんとするを外掛けに靠れ込んで玉手の勝は道がなり▲千●葉ケ崎●に清●瀬川●は新進中の好取組なり千葉立ち上りさま激しく突きかけ清瀬土俵際に殘して左四ツとなり勢ひ込んで寄り立てるを千葉亦土俵際に殘して廻り込み得意の外掛けに浴びせ倒して千葉の勝は激しき相撲なりき▲八●甲山●に對●馬洋●は八甲の二本差右上手を引き吊り出して對馬の勝

▲錦島に逆鉾は本社の懸賞豫想相撲にて是亦好取組なり逆の突張り進むを右手に突き落して錦の勝は簡單なが大喝采▲鶴●渡り●に九●州山●は右四ツ鶴鳥渡突き放しを試みしも利かず寄切つて九の勝▲大●戸平●に栃●木山●は初日呼物の好取組たり、カツシリ左四ツとなるや栃木右上手を筈に當てゝ押進み大戸が得意の捲き落しを試みんとするを金剛力に突き放して栃木の勝は立派なる大關振り▲紅●葉川●に兩●國●は紅の左手を當てゝ押さんと飛び込むをその左を當てゝ右手に引張り込むなり體を開いて十八番の小手投物の美事に極り兩の勝▲黒●瀬川●に西●の海●は黒瀬の突張るを西受けて反對に突き進み左を突當てゝ押切り西の勝▲鳳●に源●氏山●は源氏二本差して寄るを鳳右手小手投を打てば極まつて鳳の勝之にて中入

▲お斷り　中入後の手捌きは電報輻輳不著のため翌夕刊に掲載すべし

▲二日目の取組

(彌高山　若島)(龍ケ崎　明石)(常の花　藤の川)(岩木山　柏戸)

(逆の矢　浦の濱)　宇都宮　大戸平　(綾川　敷島)

(釋迦嶽　鳴門洋)(一湊　土州山)(小常陸　黒瀬川)

對馬洋　朝潮　(逆鉾　鳳)(大錦　眞砂石)

△中入後

(大の高　琴ケ浦)(清瀬川　八甲山)(大潮　石山)

源氏山　錦島　(宮城山　鶴渡り)(九州山　玉手山)

兩國　千葉崎　(駒泉　伊勢濱)(栃木山　紅葉川)

(西の海　大鳴門)

右の内宇都宮に大戸平、兩國に千葉ケ崎は本社豫想懸賞の取組なり

◎李王殿下咸興御著

盛なる出迎へ

李王殿下の自動車は咸永間十四里の薫風を衝いて一路十一日午後四時咸興に入れり途中數日來の降雨に氣遣はれたる泥路も

▽咸南道官民の努力に依り遺憾なく快復し殿下には永興定平間の峻嶮黒石嶺御通過の際新緑の風色に感興を催され午後三時三十分定平を過ぐれば之れより朝鮮三大平野の一なる咸興の平野に續き十八臺を聯ねたる自動車は川を渡り畑を貫きつゝ咸興に到著せり沿道は例に依り到る處の村落

▽白衣黑冠の人々ならぬはなく殊に萬歲橋附近より市中に亙りては歩兵第七十四聯隊加藤大佐を初め官民生徒の出迎頗る盛んにして滿街溢るゝ許りなり殿下は直ちに蟠龍山なる道長官々舍に入られたり(於咸興幹部員發電)

◎蔚山白骨事件死刑宣告

社會の耳目を聳動しつゝある蔚山白骨事件の犯人長坂七太郎は釜山地方法院に於ける判決を不服とし大邱覆審法院に控訴審理中なる處四月三十日を以て結審五月十一日午後二時三十分前判決を取消し死刑に處する旨判決言渡ありたり(大邱特電)

◎陸軍大學生團滿洲戰跡見學

田村騎兵大佐を幹事とし教官及び陸軍大學生五十七名より成る戰跡旅行團は十日夕刻入港の臺中丸にて來連し市中を一巡して同夜旅順に向ひたるが一行は十一日松樹山、二百三高地其他の戰跡を歴巡し十二日旅順發遼陽、沙河、奉天、撫順、四平街、長春等に赴き戰跡を見學しそれより南下十八日大連に引返し更らに大連を視察し二十日嘉義丸にて出發歸還の豫定なり(大連特電)

◎滋賀縣下一丈餘の殘雪

滋賀縣江州土倉鑛山附近は殘雪今猶一丈餘に及び交通杜絶し居れるが斯くの如きは古來珍奇の事なりと(大阪特電)

◎選擧運動員入水自殺を圖る

京都府選出代議士片岡直温氏の運動員府會議員古川清次郎は選擧違反の廉を以て取調中井戸に入水せしが救助せられたり(大阪特電)

◎若き内地婦人の投身自殺

原因は發狂か

龍山南菜町一丁目盧漢朝が十一日午前六時頃自宅構内の井戸(深さ八尺位)より水を汲み取らんとしたるに井中に内地婦人の溺死體あるを發見したるが附近居住の懇意の間柄なる小玉順三方同居中の林谷よし(三五)らしきより直ちに

△同家に急報し家人は大に驚き即時屍體を引揚げたるに全くよしなること判明したるも既に縡切れ居れるより其筋に届出で青葉町出張所より憲兵出張檢屍せしに死後四時間位を經過し居るものゝ如く身には白ねるの襦袢に木綿絣の袷を著し寢衣帶を締め髮はハイカラに結び居れり而して紐の細紐を頸に二重に捲きつけあるより見れば最初に頸を絞めて自殺を企てしも果さざるより遂に投身溺死するに至りしものゝ如し

△雨の袂には重さ五百匁位の石三個を入れあり井戸の附近には著用せし木綿縞の炊事用上著及び足駄を揃へありし由にて身柄は小玉方へ引渡したり同女は香川縣三豐郡庄内村生れにして大正元年十一月頃岡崎町居住荷馬車輓山本健四郎と結婚同棲したるも生計不如意の爲め本年二月中相談の上離別し其後小玉の妻が實姉なる關係上同家に寄食せしも元來強度のヒステリーに罹り居り加療中なるも

△一向効なく家人も注意を怠らざりしに本月初め頃より稍精神に異狀を來たし十日午前七時頃無斷家出し行衛不明となりたるより心當りを捜索中遂に變死し居るを發見したるものなりと

◎勇敢なる三水兵表彰

有馬第三艦隊司令長官は今回麾下第十潜水艇乘組員後二等兵曹野上三等兵曹金田一等水兵の三名が先月二十八日呉軍港内にて塵芥船一隻が折柄の暴風に顛覆し船夫一名が既に溺死せんとするを見て協力通船を操縱して高浪暴風の下に救助せる勇敢なる行動を表彰し各善行賞を授與されたり(東京特電)

◎淡路丸事件被告等の公判

一時世間を騷がしたる淡路丸沈沒僞電事件は東京地方裁判所に於て審理中の處被告山中峰太郎(三一)阿部欽次郎(三八)國分寺唯吉(四二)篠田元重(三八)松井收一(三九)松岡泰介(三二)は夫々電信法違反取引所法違反恐喝罪にて豫審有罪と決定し東京地方裁判所の公判に附せられたり(東京特電)

極東オリンピック大會

▼支軍捷つ

競技中の鬪擾

極東選手權競技大會第四日の十一日は朝來穩かなる初夏日和にして支那對比律賓の蹴球決勝戰は觀客を熱狂せしめたり、比、支兩軍共必勝の意氣込鋭く

◎技伯仲と見えて開戰前より活氣場内に滿ちしが比軍は兎角支軍に壓迫され氣味にて支軍に二點を許したる際支那選手が比律賓選手に握手を求めたるを比軍選手は之を侮辱したるものと解して組打ちを初め居合せたる兩軍選手も入り亂れて摑み合ひを初め數百名の支那應援隊は比律賓選手を取り圍みてアワヤ大事に至らんとせしも委員等の

◎調停にて引き別れたるが比軍は斯かる非紳士的行動を執る支那選手と競技せずとて退場し支那選手は蹴球の極東選手權を得たりヴォーレーボールも比律賓對支那にて緊張せる試合の後支那選手の勝に歸し其の極東選手權を獲得したり(東京特電)

八日開校式を擧行したる……校の如き漸く七十名の……

忠臣義士の仇討譽　實説忠臣藏　全十二卷表裏百廿段返し

(特別大興行)　寫眞長尺に付正六時半第一番映寫

△日東帝國の精華

△武士道の典型

二萬圓の撮影費を投じたる未曾有の大史劇

專屬義太夫竹本糸光　出語

あら樂し思ひは晴るゝ身は捨る
浮世の月にかゝる雲なし

年の瀬や水の流れと人の身は
明日待たるゝその寶船

初日滿員御禮　後タツタ六日間

日曜　晝間正午より　夜間午後六時より　開館

喜劇ダンス『鏡の蔭』

ルボーフル嬢出演

△人氣湧くが如き大餘興!!　藝題差替

東京小林商會滿鮮代理店　米國ユニヴーサル社特約

有樂館　電話(上階)五九七番(下階)二〇五番

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百六十二 心頭の波瀾『三十二』の一

氣候は五月雨に入つた。いま僅で仕上げを了るべき金屏風の畫が、幸三郎の氣分のすぐれない爲めに、此所へ來てから案外に暇取つたのであつた。彼は、幾分に頭腦の疲勞した氣味もあつたのであらうが、三日隔き五日隔き位に男爵邸へ出掛けて、ぽつ／＼と色彩のむらを直したり、不調和な波の隈取りを補正したり、月の銀泥を判然と際立たせる爲めに大空の群青を強く爲たりする事に、他の知らない苦心と努力を重ねた。

黒川執事を始め、朝夕畫室に出入りして居る男爵邸の中働きや小間使どもは、世の中に畫工ほど氣の長い者はないと思つて、感心の度よりは反つて、その不生産的なのに呆れはて居たのであつた。

『先生、何時確かなる完成をお告げになるので御座いますね。』

もう何と云つても二日か三日で全部の完成であると思つて居た矢先へ、黒川執事がのこ／＼と入つて來て、少し自烈込みの調子で斯う訊ねた。折柄群青を滴るほどに大刷毛へ含ませて、いま一刷毛塗らうか塗るまいかと、思案半の幸三郎は、何とも答へずに刷毛を皿の上に卸して、黒川の禿頭を熟と視やつた。

『私どもの拜見した所では、もう一臈の不足分もないやうに思はれますがね。』

『なアに、まだ／＼そんな譯ぢやないんです。お屋敷の方では、飛んだ厄介者だと思つてお在でせうが、僕としては秋までに間に合へば好いんですから、實は少し早く出來過ぎたと思つとる位ですよ。』

『それでも、初めて此處へお入來の時からでは、三ケ月近くもなるではありませんか。』

『金屏風一双ですからね。どんな達者な人だつて半年は當然です。』

『は、はッ、然う云うもんですかな。』

詰りお描きになる時間よりは、考へては眺め、眺めては考へてお在る時間の方が多いですね。』

『言つて見りや、そんなもんかも知れません。長いと云へば黒川さん、閣下の御病氣も私の屏風以上にお長いやうですが、若しお差支へがなければ、此の畫を一應御覽願ひたいと存じますが、御氣分の好い折にでも一ツ貴方からお取次を下さる事は出來んでせうかな。』

『それはいと易いこツてす。併し、御前にもいろ／＼錯雜した御心配事がお有り遊ばすので、迂濶とそんな事を申上げますと、反つて途方もないお眼玉を頂戴しますから、私初め出來る限り差控へとる所なんです。』

『成程御心配事のお有り遊ばす事は僕も陰ながら承はつて居りましたが、それにも致せ、彼の以來、全然奥の一室にお引籠りになつたきりと云ふのは、隨分御退屈の次第だらうとお察し致しとるんです。第一身體の御運動と云ふものがお付きにならんでせうがね。』

幸三郎の不審がるのも道理至極で、前後三月にも亙る間には、何ほど廣い建物の内とは云へ、一遍位姿を見掛けねと云ふ筈は、什うしてもないのである。

『いや、その事ならば、貴方の言はれるまでもなく我々も同感に存じとる譯ですがね。それでも夜分になると殆んど毎夜のやうにお出ましになるんです。長くて二三時間、短かい時は一時間位でお歸りになる御容子ですが、供も何もお召連れにならんもんですから、お行先は頓と分りませんけれども、多分御運動の爲めだらうと推測しとるんで御座います。』

『は、はア、然う云ふ事がお有りのですか。では御病氣の方は、左して御重い譯ではないんで御座いますね。』

『ま、まあ、申して見りや御病氣と云ふのは、寧ろ世間のお手前丈か……とも思はれますね。』

『いや、然うお聞きしたので、僕も大いに安心した次第です。』

幸三郎は、再び刷毛を把り上げながら屏風に向つたのである。併し、その心の中には、稍穢らず、不可測の疑問と不安とが黒雲の如くに湧き昇つた。男爵が殆んど毎夜のやうに供をも連れず外出さるゝと云ふのは必ずや此の崖下の淨玄寺に潜ませてある絹代の許か、左なくば頃日來、行衛不明を傳へられて居る袖子夫人の許かに相違なからうと思つた。尤もそれは何方であると爲ても、今の自分には、直接何等の關係はないやうなものであるが、飽まで解しがたいのは男爵その人の精神である。それほどの大なる事業上の心配が蟠つて居る中で、自分如き無用の人物には、平然として宛然治外法權の民の如くに、金屏風を委せきりに爲て置かるゝと云ふ一事は、什うしても合點がゆかない。幸三郎は、特に最近に及んで、難解しき謎の中に包まれてあるやうな苦悶的の感じが益々濃くなつて來たのである。

[illegible] の晋肝米・ヘバイヌロ [illegible]

純蔘精
今回東本願寺法主猊下御巡錫の際御旅行用として御用命の榮を得たり
十日分金八十錢 二十日分金一圓五十錢 三十日分金二圓二十錢 六十日分金四圓 九十日分金五圓五十錢
京城黃金町四丁目一ノ一〇
高麗人蔘製劑所
電話二五九九番 振替京城一四三六番

◇本邦人口府縣別

內務省最近の調査に係る大正四年末現在の我邦內地人口總數は五千七百四十四萬二千百七十七人にして府縣別は左の如し

府縣	人口	府縣	人口
北海道	[illegible]	東京	[illegible]
京都	[illegible]	大阪	[illegible]
神奈川	[illegible]	兵庫	[illegible]
長崎	[illegible]	新潟	[illegible]
埼玉	[illegible]	群馬	[illegible]
千葉	[illegible]	茨城	[illegible]
栃木	[illegible]	奈良	[illegible]
三重	[illegible]	愛知	[illegible]
靜岡	[illegible]	山梨	[illegible]
滋賀	[illegible]	岐阜	[illegible]
長野	[illegible]	宮城	[illegible]
福島	[illegible]	岩手	[illegible]
青森	[illegible]	山形	[illegible]
秋田	[illegible]	福井	[illegible]
石川	[illegible]	富山	[illegible]
鳥取	[illegible]	島根	[illegible]
岡山	[illegible]	廣島	[illegible]
山口	[illegible]	和歌山	[illegible]
德島	[illegible]	香川	[illegible]
愛媛	[illegible]	高知	[illegible]
福岡	[illegible]	大分	[illegible]
佐賀	[illegible]	熊本	[illegible]
宮崎	[illegible]	鹿兒島	[illegible]
沖繩	[illegible]	合計	五七、四四二、一七七

◎山城吟社句錄 茅立ち早きドロの新樹に點綴せる花の櫻けれとも山城の春今や十二分なり。此時此際偶々大田湖南社同人雅遊す候る。乃ち一夕燭を翦つて歡迎の句會を開く(四月二十一日)

○一群は女ばかりの花見哉 神谷
○三人の姉妹となりぬ春の海 鶴城
○白足袋の塵拂はすよ櫻人 孤秋
○彌生盡温突を移りぬ 空堂
○花の山黑きは椎の大樹哉 奇石
○行春や盧捨てし土乾き居る 友衆
○柴舟の柴に折り添ふ櫻哉 未刀
○行春の印譜さぐるや膝の上 光背
○馬洗ふ水輪に揺れり櫻月 雅溪

新刊紹介

△新日本(五月號) [illegible]後の日本の地位を論ず、[illegible]と支那の國際[illegible]、淨田博士の『革命の炎火を背景とせるローノフ家の悲劇』押川將代議士の『我帝の使命』等あり、瀧野、商島二氏の『西本願寺問題論』は研究と觀察に於ける井上大教授の『[illegible]』、神谷の主義的傾向『評判女神[illegible]』、子子に寄せる滿天下の婦人の[illegible]せる十二頁の長篇文學の外交樂部の馬場孤蝶氏作『米獨戰爭未來記』が益々佳境に入り北原白秋氏の處女作小說『黑人夢』は出色の作といふべし其他佐藤紅綠氏の『剛毅盡瘁の時』多田鼎一氏の『南洋征人物の寄書作』山口孤劍氏の『[illegible]』記『寫面目』(二十八錢、東京丸之內、內幸町一の五 共社)

△婦人畫報(婦人と社交號) 東京を中心として一般婦人界に行はれつゝある訪問、接客、饗應、贈り物等の仕方、和洋食卓の禮法、洒い茶の各西法より結婚披露の方式と共に經費に至るまで各專門大家執筆の說を掲げたれば一卷の禮法の卷として見るも可なるべく加ふるに四十八頁に亘る鮮麗無比の光[illegible]の外二百六十已、伊藤小坡畫伯筆の優雅繪をなる二頁大の風俗と美人の繪附錄あり頁に二百二十四頁の讀み物の中には[illegible]、評判、淨田三博士、下田歌子、高島平三郎、山脇房子、小子、前田雨子詞、嚴谷小波其他諸名士の好文字を網羅し作家地岡芳氏の長篇小說『知府士』はまた〳〵佳境に入れり附錄松居松葉氏の『破產』(喜劇)及三宅やす子女史の處女作『嫡舊』(小說)は共に讀んで倦むことを知らず一定價本號に限り五十錢(東京々橋東京社)

△ニコ〳〵(五月號) 江戶の酒落(佐々醒雪)、[illegible]來る(保險社自動車奏話)(小波)及奥村安資の笑禍、愛犬物語、笑の淚等(二十錢東京麴町有樂町三の三 ニコニコ俱樂部)

△充實せる中學講義錄 東京神田三崎町三丁目大日本國民中學會より發刊せる同講義錄は最も斬新なる敎授法に依り中學全科獨習志者の勉學に便せるものにて講師は斯界權威者を始め普現に中學敎育に携はる人講義の懇切丁寧記憶し易き事は從來の講義中稀に見る處にて殊に此際入會者には種々特典と獎學資金を贈呈する由志望者は同會へ見本付き會則を要求せられよ

◎豫防は醫療に優る 温季に入りてそろ〳〵惡疫發生期に向ひたるが醫學上の格言にも『豫防は醫療に優る』とある通り病氣に取付かれてから僅に騷立てた所で仕方なく平生から衛生に注意して病氣に罹らぬ工夫が肝要第一なるが就中『口は病の門』とも謂ふ通りなれば每朝口に入るゝ齒磨の如き殊に選擇に注意する必要あり此點に於て彼の效力五倍以上との保證あるクラブ齒磨の如きは醫學者間にも理想の衛生的齒磨として推奬せられ陸海軍並に帝國大學を始めとして之が使用を獎勵する處益々高まれるより近來各地非常に賣行にて苟くも衛生に注意する家庭は殆んど凡てクラブ齒磨の愛用者たる現況なりといふ

商況

大阪正米(十一日後場) [illegible]

仁川期米 [illegible] 一六、三五 [illegible] 一六、八〇 [illegible] 一七、三五 一七、三二

出來高 四萬一千七百石

[illegible] 十四圓十八錢 十四圓廿二錢 十四圓廿六錢 [illegible]

十一日前場 [illegible] 三五、一〇 八四、〇〇 [illegible]

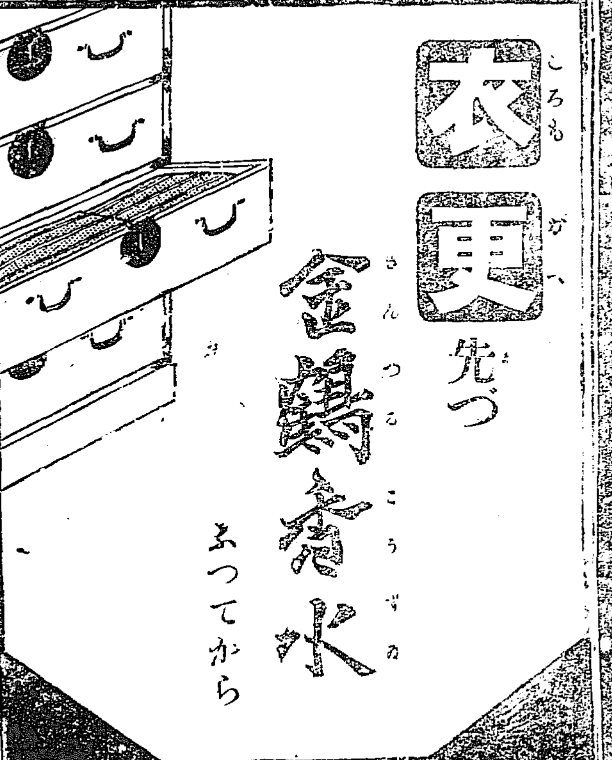
▲十一日後場 [illegible]十一錢京京十八圓〇八錢大阪兵庫後寄十[illegible]前止十八圓丁度後寄〇四錢の大引にて高地常十三圓七十錢より六十五錢引中十三圓六十五錢より七十五錢と上伸[illegible]十四圓十六錢と二[illegible]

上伸したるも◎③今全室共他より利喰に新規に賣物多く四錢と押し五錢と敗合を告げたり市況は前利喰の賣出に頭重き成行を呈したるも後場は此手口の買嗜しに又復新高値を現出し强硬の成行を示したり不知今後の趨勢如何

▲④ [illegible]千餘石一[illegible]千餘石あり ▲⑤買六千餘石一面二千餘石の賣あり ▲⑨賣五千餘石買四千餘石 ▲[illegible]賣三千餘石買四千餘石

▲現物界 [illegible]

▲先限 [illegible]



金言
愚者は言葉を弄し賢者は聞くにあらざれば答へず 俚諺

今が外出の好季節
手にく〳〵仁丹忘れずに 行けく〳〵山へ行け川へ
仁丹召せば愉快百倍

仁丹活用
●運動散步の時仁丹
●遠足旅行の時仁丹
●息切咽渴の時仁丹
●一寸一服の時仁丹
●煙草の代用に仁丹

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸 五月十五日後四時出帆
○君が代丸 五月二十日後四時出帆
○秀吉丸 五月二十日後四時出帆
○神代丸 五月十七日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽(天津)牛莊行
○相模丸 五月廿三日正午出帆
○砂河丸 六月三日正午出帆
○三河丸 五月十三日後十一時出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

共同汽船仁川出帆
阿波、大阪行
○芝罘、大連行
會下山丸 五月十二日午後入港 五月十四日前十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕り大連にては南滿州鐵道線荷客共通し發送可仕候
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店(春日町 電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話三六八〇七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆
鐵道會社及社外船と聯絡運送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會ありたし
本社 京城 電話[illegible]
京城南大門驛前 荷客取扱店 松原運送店(電話長一七〇番)
○江原丸 五月十三日
○京畿丸 五月廿四日
○黄海丸 五月廿九日
○咸鏡丸 五月十九日 門司より釜山各港寄港北鮮航路 釜山發
○鏡城丸 五月九日
○昌平丸 五月 日
○鎭城丸 五月十二日 元山より各港寄港北鮮航路 元山發
○昌平丸 五月 日 東海岸各港寄航 元山發
○德丸 五月十日 廿浦、九龍里、浦項各港寄航 釜山發
○江陵丸 每日 浦項 釜山發
○三浦丸 五月十二日 長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
○海州丸 ○慶尙丸 每日 釜山發
○平壤丸 五月十四日 城津、淸津、雄基行 元山發
○順天丸 三日目毎 木浦發
○慶興丸 五月十一日 木浦發
○慶興丸 五月十三日 木浦發
○公州丸 五月十六日 木浦發
○麗水丸 五月十四日 仁川發
○晉州丸 五月十八日 仁川發
○宗信丸 五月十五日 仁川發
○金州丸 ○南陽丸 每日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路(遠洋航路を除く)の連絡切符發賣仕候 乘船の時は五分引を以て[illegible]
◎關門、神戸、大阪行
×汕頭丸 五月十六日後二時出帆
×汕頭丸 五月廿九日後二時出帆
◎群山、神戸、大阪行
須磨丸 五月十二日後五時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×安東丸 五月二十日後二時出帆
×安東丸 六月七日後二時出帆
○横濱行
×瀛州丸 五月廿七日後二時出帆
△瀛州丸 五月卅一日後二時出帆
◎南浦、關門、神戸、大阪行
須磨丸 五月廿一日後二時出帆
◎鎭南浦、大連行
×安東丸 五月十五日後二時出帆
×安東丸 六月二日後二時出帆
◎大連直航
×瀛州丸 五月廿二日正午出帆
△瀛州丸 五月廿六日正午出帆
◎西湖津新浦城津淸津行(元山出帆)
安平丸 五月十一日後十二時出帆
◎淸津行(元山出帆)
宮島丸 五月十七日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 五月十八日前十時出帆
基隆丸 六月三日後四時出帆
御注意 ◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各驛と連絡切符發賣仕候 ◎御乘船の客は本船出帆の約一時間前に御乘船を乞ふ ◎×印は[illegible]
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二二〇番五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り [illegible]旅館 電話二六一番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸 五月 日後五時出帆
○立神丸 五月十八日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸 五月十七日後十時出帆
○立神丸 五月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部